日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌　［アクエドゥクト］

acueducto

La revista española en Japón

特集

西欧最古の都市、カディス

ESPECIAL: CÁDIZ

¥0

GRATIS/第12号

28-febrero-2013

www.acueducto.jp

Asociación Cultural Española
スペイン文化協会

スペイン・バスク料理会

美食の街として知られるサン・セバスティアン出身の講師が、家庭でも簡単に作れる料理を伝授します。

2013年度 第1回
【日時】2013年4月28日（日）　11時～15時半
【メニュー】
エビの串焼き（Brocheta de gambas con aliño）
鶏のガーリック風味 じゃがいものクレマ添え（Pollo al ajillo con crema de patata）
ゴシュア - 生クリーム、カスタードとスポンジケーキで作るバスク地方のデザート（Goxua）

2013年度 第2回
【日時】2013年5月26日（日）　11時～15時半
【メニュー】未定

【場所】クレオ大阪西　クラフト調理室
【参加費】4,000円
【持ち物】エプロン、三角巾、ふきん
【アクセス】
JR環状線・阪神なんば線「西九条」駅下車、徒歩3分
大阪市此花区西九条6丁目1番20号
【お申込方法】
各開催日の前日（第1回：4月27日、第2回：5月25日）までに参加費とあわせてお申込下さい。
＊参加人数に限りがありますので、定員になり次第締め切りとなります。
【お問合せ】有限会社ADELANTE　TEL：06-6346-5554

スペイン情報誌acueducto 定期購読のご案内

スペイン情報誌acueductoでは、定期購読をご希望の方に、送料をご負担頂き、ご自宅までお届けしております。ご希望の方は、以下を明記し、ファックス、郵送、E-mailのいずれかでお申込みください。（お届けはお申込書提出・ご入金後となります。）

① 氏名 ② 電話番号
③ ご住所 ④ 必要部数

【お申込先】
1. 郵送の場合
大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館2F
有）ADELANTE　宛
2. ファックスの場合　06-6110-5122
3. E-mailの場合 info@acueducto.jp

【送料】1,200円（1年間：4号分）

基礎からしっかり学ぶ!スペイン語レッスン
話せる楽しさを実感しながら、スペイン語を身に付けよう!

新規開講入門クラスのご案内(各クラス定員４名)

【一般コース　全１２回 / 入門クラス】
（3月）
月曜日　19:30-20:20　2013年3月25日-6月10日
木曜日　18:30-19:20　2013年3月28日-6月13日
（4月）
月曜日　18:30-19:20　2013年4月8日-6月24日
金曜日　18:30-19:20　2013年4月12日-6月28日
教材費：1,890円　受講料：42,840円（分納可）

入会金 15,750円 OFF !!（2013年4月15日まで）

初心者の方対象の新しいクラスなので、スペイン語が全くはじめての方でも安心してスタートできます!各クラス定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申込ください。その他の曜日や時間をご希望の場合は、お気軽にお問合せください。
学習経験者の方は是非一度レベルチェックを兼ねた無料体験レッスン（要予約）をお試しください。レベルに合ったクラスをご案内いたします。

ネイティブ講師との会話クラス ***"CAFE A LAS ONCE"***
毎週金曜日**11**時～**12**時**20**分
【参加費】**1,000**円（1レッスンごとにお支払・入会金不要）
もっとスペイン語を話す機会が欲しい方にピッタリです。
お申込みは、前日までにお電話でお願いいたします。

ADELANTEはスペイン語
スペイン語はADELANTE
www.adelante.jp

【お問合せ】
スペイン語教室アデランテ **06-6346-5554**

スペイン留学セミナー

いつかスペインに留学してみたいな ... と考えているあなたへ!
スペインの都市、学校・コース、滞在方法、費用、学生ビザ、準備方法などをスペイン・サラマンカに留学経験のあるスタッフが詳しくご説明いたします。
是非お気軽にご参加ください!セミナー後、個人カウンセリングもご予約承ります。

【日時】1. 2013年3月16日（土）11:30～
2. 2013年3月30日（土）11:30～
（セミナー所要時間 約40分 - その後個別カウンセリング）

【場所】スペイン語教室アデランテ
〒530-0035 大阪府大阪市北区梅田2-5-8-2 F

【お申込・お問合せ】有限会社ADELANTE / TEL:06-6346-5554

※ 参加ご希望の方は、必ず事前にお電話にてお申込ください。

www.spainryugaku.jp　email:info@spainryugaku.jp

スペインフェア 2013

出展・協賛企業募集

【開催日】2013年11月3日（日）
【お問合せ】06-6346-5554（スペイン文化協会）

Asociación Cultural Española スペイン文化協会 www.spainbunka.jp

難破船の残した友情
DEL NAUFRAGIO A LA AMISTAD
監督・脚本：ゴンサロ・ロブレド
音楽：エルンスト・レイスグル・制作：2009年、パチェ株式会社
ドキュメンタリー 60分 スペイン語（日本語字幕）NTSC
税込価格：3,990円

絶賛好評発売中!
お問合せ・お求めは、ADELANTESHOPへ!
ADELANTESHOP（アデランテショップ）
URL：www.adelanteshop.jp
TEL:06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122

acueducto
revista cultural en español

スペイン情報誌acueductoでは、
広告を掲載して下さる企業や
個人の皆様を募集しております。
1枠あたり5000円より掲載可能。
詳しくはお問合せ下さい!
TEL. 06-6346-5554
E-mail: info@acueducto.jp

イラスト
デザイン
マルティン・サンチェス
martin sanchez
画家
www.jesusmartinsanchez.com
iesusangel@gmail.com

ESPECIAL 特集 5
西欧最古の都市、カディス
カディス市長からの手紙 ／ 観光とビーチ ／ カディス食べ歩き・飲み歩き ／ 美味いぞサンルーカル!!～サンルーカル食巡り記～ ／ カディスのカーニバル ／ 2012年イベロアメリカ首脳会議 ／ カディス憲法（1812年憲法） ／ カディスの歴史

SPAINRYUGAKU.jp スペイン留学. jp 26
スペインバスク サンセバスティアンでおいしい生活② ／ FEDELE III ENCUENTRO DE CENTROS ELE Cádiz 2012

ESPAÑOL スペイン語 31
スペイン語講座(XII) 過去分詞について ／ はじめてのスペイン語講座 第12回 現在完了について

FÚTBOL サッカー 36
レアル・マドリードＣＦ公認サポーターズ・クラブ "ペーニャ・マドリディスタ・ニポナ" ／ スペインサッカーを巡る -2-

VARIOS その他 38
ESPAÑA FOTO A FOTO - スペイン写真コンクール - ／ 西宮市国際交流協会 スペイン語おしゃべりの会 活動のご紹介

HISTORIA 歴史 39
ゲルニカ備忘録――その２ 《ゲルニカ》よ、永久なれ!

LIBRO 本 41
スペイン語書籍のご紹介 ／新刊書籍のご紹介

ARTE 芸術 43
チンチョン伯爵夫人(その１)

NOVELA 小説 44
大海原

スペイン情報誌 acueducto
Director:
Shoji Bando 坂東省次

Editor:
Alejandro Contreras
アレハンドロ・コントレラス

Maquetación y diseño:
Ayako Wakita 脇田絢子

Colaboradores:
Yo Kawanari 川成洋
Kuniyoshi Nakai 仲井邦佳
Kaname Ikemoto 池本かなめ
Elena Contreras エレナ・コントレラス
Mikel Berradre ミケル・ベラデレ
Jesús Martín ヘスース・マルティン
Ángel Montilla アンヘル・モンティージャ

ADELANTE Co., Ltd
2FL. Chiyoda Bldg. West Annex
2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

有限会社アデランテ
〒530-0011
大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館2Ｆ
Tel：06-6346-5554
Fax：06-6110-5122
email: info@acueducto.jp
www.acueducto.jp

本誌の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。
本誌の内容および広告に関しては、発行元の責任の限りではありません。

Asociación Cultural Española
スペイン文化協会

www.facebook.com/acueducto.japon
@acueducto_japon

Colaboradores:

ご挨拶
スペイン情報誌「acueducto」第12号をお届け致します

¡Feliz año 2013!

A pesar de la lamentable crisis que atraviesa España, este año celebrará el "Año de Japón" y aquí disfrutaremos del "Año de España".

Los actos de gran envergadura que acompañarán al "Año de España" son el Congreso Internacional sobre el español en Japón, que tendrá lugar en el Instituto Cervantes de Tokio en el próximo otoño, y la Ceremonia Conmemorativa a la Misión que capitaneó Tsunenaga Hasekura durante la época de Keicho y partió en barco de la bahía de Tsukinoura, en la provincia de Miyagi, hace 400 años. El barco, San Juan Bautista, que llegó hasta México con la Misión, fue reconstruido en Miyagi hace unos años. Aunque sufrió estragos por el gran terremoto de Tohoku y los posteriores tsunamis que sobrevinieron el 11 de marzo de 2011, el San Juan Bautista es considerado como el símbolo del restablecimiento de este área.

Este año, junto a la celebración del "Año de España", el Departamento de Estudios Hispánicos de la Universidad de Estudios Extranjeros de Kioto cumple el 50 aniversario de su fundación. En esta Universidad, asimismo, se celebran la reunión de antiguos alumnos, el congreso internacional sobre España, la exposición conmemorativa a la Misión de Keicho y el simposio en materia de este grupo, el concurso de oratoria del español, el concurso del flamenco, etc. Actos en los que os esperamos a todos con vuestra participación.

Shoji Bando
Director

新年明けましておめでとうございます。

ご案内のように、スペインの経済危機は続いていますが、そんな中で今年、日本では「スペイン年」、またスペインでは「日本年」を迎え、両国で数々の記念行事が予定されています。

スペイン年の中心は、二つあります。一つは、日本におけるスペイン語に関する国際会議で、今秋、セルバンテス文化センター東京で開催されます。もう一つは、400年前に宮城県月浦を発った常長の慶長遣欧使節に関する記念行事です。使節団を乗せてメキシコまで航海したサン・フアン・バウティスタ号の復元船は2011年3月11日の東日本大震災とそれに伴う津波と暴風で大きな被害を受けましたが、東北復興のシンボルとして、復活しつつあります。

「スペイン年」を迎えた今年、京都外国語大学スペイン語学科は創設50周年を迎えます。

スペイン年の一環として、50周年記念同窓会、スペインに関する国際会議、慶長遣欧使節400年記念展示会とシンポジウム、全国学生スペイン語弁論大会、全国学生フラメンコ大会など多彩な記念行事を予定しています。ご期待ください。

坂東省次

坂東省次 ばんどうしょうじ / Shoji Bando

京都外国語大学スペイン語学科長・教授。
京都セルバンテス懇話会代表。
専攻はスペイン語学、日西交流史。
近著に『スペインを訪れた作家たち』（沖積舎）がある。

スペイン雑貨通信販売

www.adelanteshop.jp

スペインサッカーチーム　オフィシャルニットマフラー

価格　各 ￥2,730 - (税込)　【サイズ】140 X 20 cm

日本でも大人気の
スペインサッカー公式グッズ登場

1. F.C. バルセロナ
オフィシャルニットマフラーC

2. レアル･マドリード
オフィシャルニットマフラーG

3. スペイン代表
ニットマフラーB

4. スペイン代表
ニットマフラーC

5. F.C.バルセロナ
オフィシャル
ニット帽 A

6. レアル･
マドリード
オフィシャル
ニット帽 A

オフィシャルニット帽
各￥1,890 -(税込)

スペインのシンボルでもある牛を、カラフルでポップなモチーフにした TOROエプロン(大人用)

1

1. TORO エプロン A
￥2,730 - （税込）

2

2. TORO エプロン B
￥2,730 - （税込）

スペインの味をご自宅でも!
小さなものから大きいカスエラまで、
各種とりそろえております。

スペイン家庭料理の必需品！
直火可能な耐熱陶器

カスエラ CAZUELA

1. カスエラ　12cm ￥840 - （税込）
2. カスエラ　14cm ￥1,050 - （税込）
3. カスエラ　17cm ￥1,470 - （税込）
4. カスエラ　19cm ￥1,680 - （税込）
5. カスエラ　21cm ￥2,100 - （税込）

スペイン語誕生日カード

「お誕生日おめでとう」のメッセージをスペイン語で送ってみませんか？動物のイラストが描かれたとても可愛らしいカードです。

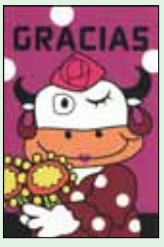
A タイプ　B タイプ

お誕生日カード A-D
各￥350 - （税込）
【サイズ】 19 X 13 cm
＊封筒が付属しています

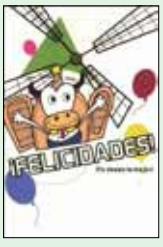
C タイプ　D タイプ

スペイン語 ポストカード

A



B



C

牛をモチーフにしたポストカードシリーズ。風車やフラメンコなどスペインらしいテーマが描かれています。

【サイズ】14.8 X 10 cm
各 ￥100 -(税込)

A. ¡Feliz cumpleaños!
（お誕生日おめでとう）
B. Gracias（ありがとう）
C. ¡Felicidades!（おめでとう）

お問合せ・ご注文は以下までお願いいたします：

有限会社ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館 2F
TEL:06-6346-5554　FAX: 06-6110-5122
Email: info@adelanteshop.jp

御注文は、E-mail、Fax、お電話にて承っております。
その際、決済方法は、代金引換か銀行振込をご指定ください。
送料は全国一律280円かかります。なお、1度のご注文で税込み8,000円以上ご注文いただいた場合、配送先1箇所につき送料を無料とさせていただきます。
ウェブサイトでは、更に多くの商品をご用意しております。是非一度ご覧ください。
アデランテショップホームページ：www.adelanteshop.jp

特集

西欧最古の都市、カディス

CÁDIZ

今号の特集は、南部アンダルシア州に位置するカディスです。紀元前から貿易港として栄えたこの街は、美しい海岸線やそこに住まう人々の陽気さ、またカーニバルなどで有名です。

市長からの手紙をはじめ、グルメ、観光、カーニバルや歴史など、年間を通して多くの観光客でにぎわうカディスの魅力をたっぷりとご紹介します！

Carta de la Alcaldesa de Cádiz

カディス市長からの手紙

Cádiz es la ciudad más antigua de Occidente con más de 3.000 años de historia. En este tiempo ha acogido multitud de culturas y ha sido cruce de caminos de diferentes civilizaciones. En unas y otras, la ciudad ha influido a lo largo de la historia y de todas, ha aprendido. Esta condición de ciudad germen y mezcla de culturas ha convertido a Cádiz en un lugar atractivo para todos.

En este todo los turistas juegan un papel protagonista y, dentro del turismo en general, el segmento del turismo idiomático ha empezado a tomar arraigo en esta ciudad que se caracteriza, especialmente, por el carácter hospitalario de su gente y por brindar una amable acogida a quienes la visitan

En los últimos años se ha intensificado el esfuerzo desde las instituciones por promocionar la oferta lingüística en Cádiz y promover, entre estudiantes y jóvenes de otros países y continentes, las estancias en la ciudad para estudiar español y, también, hacer turismo. El número de centros de enseñanza de español aumenta al tiempo que se potencian la demanda y la enseñanza de la lengua española en otros continentes como el asiático, en especial en Japón.

Hemos leído en muchas ocasiones que 'lo español' está de moda en Japón. Por ello, desde Cádiz y a través de la oportunidad que me brinda la revista 'Acueducto' quiero corresponder como representante de la ciudad y dar por anticipado la bienvenida a todos los jóvenes y estudiantes japoneses que quieran venir a conocer nuestra ciudad y estudiar en ella.

Cádiz cuenta con los recursos e infraestructuras educativas necesarias para ofrecer una formación y atención de calidad a los jóvenes. Pero Cádiz es mucho más, es garantía de una estancia acogedora y provechosa.

En la actualidad, Cádiz es un destino turístico consolidado a nivel internacional. Además de kilómetros de playas de arena blanca -siempre atractivas para quienes nos visitan- la ciudad cuenta con una riqueza artística y monumental de primer orden, una variada gastronomía y una importante oferta cultural y de ocio. A esto hay que sumar que el propio encanto que ofrece la configuración de Cádiz como ciudad pequeña y rodeada de mar, la convierte en el escenario ideal para la práctica de multitud de deportes al aire libre, entre otros los acuáticos como la vela, el surf o el piragüismo, que encuentran en los estudiantes y jóvenes extranjeros que pasan largas estancias en Cádiz, a unos grandes aficionados.

De todo el potencial turístico destaca un elemento diferenciador del resto de ciudades y destinos: la amabilidad y hospitalidad de los gaditanos. De hecho Cádiz, como reza su marca turística, es 'La ciudad que sonríe'.

Por estos y otros muchos motivos, como alcaldesa de Cádiz os animo, no sólo a los jóvenes de Japón sino también a los centros y entidades de enseñanza de español del país, a que vengáis a Cádiz, disfrutéis de la ciudad, conozcáis o perfeccionéis el segundo idioma más hablado en el mundo. Os aseguro que será una experiencia enriquecedora e irrepetible. A casi quince mil kilómetros de distancia, los gaditanos os esperamos con los brazos abiertos.

Teófila Martínez Saiz
Alcaldesa de Cádiz

カディスは、3000年以上の歴史を持つ西欧最古の都市です。多くの文化を受け入れ、様々な文明の十字路の役割を果たして来ました。歴史の中で文明は互いに影響し合い、そして学び合いました。最古の都市であること、そして文化が混ざり合っているという条件のもと、カディスは全ての人にとって魅力溢れる場所となりました。

この"全ての人々"の多くを占めるのが、観光でカディスを訪れる人々です。中でも、言語学習を目的とする観光が、ホスピタリティ溢れる人々の性格と、来訪者をやさしく迎える人々の歓迎を特色とする、この街に定着しつつあります。

近年カディスでは、行政の側より語学留学のプロモーション強化に努めており、他の大陸や国々からの学生や若者がこの都市に滞在してスペイン語を学び、また観光するよう奨励しています。アジア圏、特に日本でスペイン語の需要と教育の増加をうけて、教育機関の数を増やしました。

日本では"スペインらしさ"が流行していることを、折にふれて読む機会がありました。そこでacueducto誌から与えられた機会を使って、カディスの代表として、この街を訪れたい、またこの街で学びたいと考えている全ての日本の若者や大学生のみなさんに、歓迎の意を表したいと思います。

カディスには、良質の教育を提供する為に必要な設備や条件が揃っています。しかし、それだけではありません。ここでは、居心地よく有意義な滞在が保証されています。

現在、カディスは国際的にも知られた観光地です。訪れる人々を惹きつけてやまない数キロにも及ぶ白い砂浜のビーチだけでなく、一流の芸術、多様な食文化、文化イベントやレジャーを楽しめます。

これに加えて、カディスの地形がもたらす特有の魅力があります。規模が小さく、海に囲まれている地形は、この街をアウトドア、とりわけヨット、サーフィン、カヌーといったマリンスポーツを楽しむのに理想的な場所にしています。カディスに長期滞在する外国人学生や、若者達はこのようなマリンスポーツが大好きです。

これまでに述べたようなカディスが備える観光地としての可能性の中で、他とは一線を画す要素があります。それは、カディスの人々の優しさとホスピタリティです。事実カディスは、その観光スローガンの通り、「微笑みの街」なのです。

カディス市長として、日本の若者のみならず、スペイン語教育機関の皆様にも、是非この街を訪れ、楽しみ、知り、また世界で2番目に話されている言葉を学んで頂きたいと思います。この街での滞在が、豊かで比類の無い経験となることでしょう。日本から約15,000km離れたこの地から、両手を広げて皆さんをお待ちしています。

カディス市長　テオフィラ・マルティネス・サイス

観光とビーチ

カディスが観光客に驚きを与え、惹きつける理由として、歴史都市としての魅力、大西洋に面したさらさらの砂に囲まれたビーチ、またあらゆるマリンスポーツを楽しめるという点が挙げられるだろう。

食の宝庫という側面も捨てがたい。新鮮な魚介類やビーノ・デ・ヘレス（シェリー酒）といったグルメも楽しめる。市内にある細い路地では、他では見ることのできない文化の多様性に触れることができるのも素晴らしい。例えばヴィニャ地区はカーニバルの核を担い、またサンタ・マリア地区では人々が喜びに満ちたフラメンコを歌い、踊る。

カディスでは、都市観光とビーチでの楽しみやマリンスポーツなどが一度に経験できるという大きな利点がある。またカレタビーチの夕暮れやサンタ・マリア・デル・マル、ヴィクトリア、コルタドゥラのビーチ沿いの遊歩道の眺めは美しく、波打ち際で“ティント・デ・ベラノ”を楽しむのも良い。

カランサ橋から市内に入り少しずつ湾に近づいていくにつれて、観光客はその美しさに驚き、デ・ティエラ門をくぐると、フェニキア、ローマ、カルタゴ、アラブといった古い時代にタイムスリップしたかのような気分に浸る。そして街を散策すればフラメンコやカーニバルに触れ、1000年以上続くこの街の魂の先端に触れることができる。こういった魅力はごくわずかな街でのみしか感じることができない。

フェニキアやカルタゴ、ローマの船が停泊していた天然の港がある

写真左上：ローマ劇場遺跡
写真左下：上空から見たカディス市街
写真右上：サーフィンなどのマリンスポーツを楽しめる
写真右下：ヴィクトリアビーチ

カレタビーチでは、サン・セバスチャン城やサンタ・カタリナ城といった2つの城を前にして歴史に思いを馳せることができる。ここは過去に"007"、"恋は魔術師"、"アラトリステ"といった映画の舞台ともなり、カディスを象徴する名所である。

海に向かってカンポ・デル・スール通りを散策すれば、まずサンタ・マリア・デル・マルビーチにたどり着く。サーフィンにうってつけのこのビーチを過ぎると、紺碧の海と上質の砂のヴィクトリアビーチが出現する。ここはヨーロッパの都市部にあるビーチとして、最高クラスに分類されており、そのためヴィクトリアビーチは1987年以来、ヨーロッパでもっとも美しいビーチやマリーナにのみ与えられる"ブルーフラッグ"を授与され続けている。しかもビーチとして初めて、環境管理の面でスペイン規格協会（AENOR）から認定をうけるとともに、観光の質において上級クラスの"Q"を獲得した。

ヴィクトリアビーチのすぐ後には、4キロにもわたるたコルタドゥラビーチが現れる。柔らかく大変美しい砂丘を擁した、その美しい景観を前にして、澄んだ気持ちでビーチを散策できる。

西や東へ風が吹き、空気は澄み渡り、太陽が街を照らす。カディスは旅行者にとって再び訪れたい場所となる。

ラ・カレタの帆や小船がカディスを離れる旅行者に「さようなら」、あるいは「またすぐに」と言っているかのようである。

カレタビーチの美しい夕暮れ

タルタル・デル・アトゥン

Un paseo gastronómico por Cádiz

カディス食べ歩き・飲み歩き

古い歴史をもつカディスの町には、夏のバカンスに行くのもいい。2月の有名なカーニバルに行くのもいい。でも、食べ歩き・・・？

最初に頭に浮かんだのは、そんな疑問だった。スペインのかなりの街々を食べ歩きしてきた私だが、今までカディスにどうしても行きたいというモチーフとは出会わなかった。というのも、「カディスの名物は?」と聞くと間違いなく「ペスカイト・フリート」、つまり小魚のフライという返事が返ってくるからだ。

港町なのだから当然とはいえ、小魚のフライ、小エビのかき揚げ、サメのフライと人々が勧めてくれるものは揚げ物ばかり。これでは、あまり食べ歩きの意欲は湧かない。

しかし昨今は、スペインの津々浦々に優れた若手料理人がいる時代なのだ。まさかどこに行っても魚のフライだけということはないはずだけれど・・・と一抹の不安を抱えたまま、私のカディス食べ歩きは始まった。

パステル・デ・メルルーサ

＜エル・ファロ＞

海岸線に面した太い通りはそのままカディスの町の先端部をぐるりと取り囲んでいるが、そこから少し路地を入ったところに、誰に聞いても町一番と評判の高いレストラン「エル・ファロ」がある。

お父さんの跡を継いで店を切り盛りしているオーナーのマイテは、いままさに脂の乗り切った女性実業家。大勢のスタッフがきびきびと動いているレストランでも、彼女なしには仕事が進まない様子がよく分かる。

「トルティータ・デ・カマロンはもう食べた？　これは外せないでしょ。でもうちの人気料理、メルルサのパステルも食べてほしい。うちのアルメハスもよそにはない味ね。あとは魚のアルボンディガス。これで結構お腹が一杯になると思うわよ。」

注文した品以外に、ワインのつき出しとしてパタタ・アリニャーの大盛りの皿が登場。一通り食べ終わるころには、カディスには揚げ物以外にも美味しいものがあること、但しどれもボリュームたっぷりでなくては美味しいとされていないことをひしひしと実感していたのだった。

ここで断っておかなくてはいけないが、アンダルシアの料理についてカタカナで書くのはなかなか難しい。現地の発音では語尾のSはもちろんのこと、Dも飲み込んでしまうので、たとえば pescaditos fritos はペスカイト・フリートになってしまう。

Patatas aliñadas は、茹でたジャガイモをドレッシングでからめて味付けしたもの。Pastel de merluza は、白身魚を裏ごしして卵などとあわせ、ムースとして固めたもので、カディスだけの料理というわけではないが海辺の町では人気のある料理。Almejas con gambas y setas は、海老とキノコをソースに加えて煮込んだアサリで、なるほど少し凝った味わいの一品。Albondigas de pescado は白身の魚をすりつぶして作ったボールが柔らかなトマト味で煮込まれていて、ミートボールとはまた違うやさしい味だ。

歴史を感じさせる店内

エビときのこ入りアサリ

そして、マイテが「これは絶対食べなくては」と言ったTortita de camarones は、カディスの名物料理で、小エビを小麦粉でまとめて揚げたもの。カマロンというのは生の時は透明、加熱すると赤くなる小さなエビの名前で、カディス出身のフラメンコの歌い手カマロン・デ・ラ・イスラは、小さくて赤毛であるところからこの愛称がつけられ芸名になったという。カリッと揚げたところは、日本のかき揚げに似ている。

白状すると私は、マドリードのアンダルシア系のバルでこの料理を出された限りでは、あまり感激したことがなかった。エビの鮮度、オリーブ油の質、衣の分厚さ、揚げ方など、簡単なようでいて難しく、どこでも美味しいというわけにはいかない。しかし本場カディスの一流レストランのそれは、新鮮な油の香り、薄い衣の適度な食感、香ばしい味で、シェリーでもビールでも、どんどん飲みたくなるような美味しさだった。

＜ベントリージョ・デル・チャト＞

食事とインタビューが終わって帰り支度をしていると、マイテが誘ってくれた。

「よかったら明日は、私のほかの店もいらっしゃい。案内してあげるから。」

そんなマイテの好意に甘えて、彼女が経営する店の1軒を見せてもらうことにした。というのも、そこがただのレストランではなく、カディスの食を知るうえで外せないベントリージョという名前の付いた店だからだ。

Venta とは本来、町はずれの街道筋にある旅人のために食事も出す宿屋のこと。Ventorro, ventorrillo となると、規模が小さいだけでなく、無法者が泊まったり賭け事をする部屋があったりと、さらに怪しげな居酒屋兼宿屋というニュアンスになる。昔はカディス周辺には何軒も、そういう店があったというが、今はもうない。そして元はベントリージョであった場所を、今はマイテのファミリーがレストランにしているのだ。

カディスの町と、その付け根にあるサン・フェルナンドを結ぶ細い部分に面して、いかにも街道脇の宿という風情の「ベントリージョ・デル・チャト」がある。ここで繰り広げられた宴の数々に思いを馳せながら冬の海を見て、tartar de atún マグロのタルタルの一皿をご馳走になった。

カディスのもうひとつの名物は、almadraba アルマドラバと呼ばれる豪快なマグロ漁。マグロを日常的に食べるこの一帯ならではの素朴な料理が、最新の洗練されたバージョンで出されてびっくりする。

「今や『怪しげな宿屋』ではなくて『おしゃれなレストラン』なんですね・・・」

と私が感想を述べると、マイテとシェフが笑い出す。マグロに添えられた一杯のマンサニージャ（辛口のシェリー）がすきっと美味しい。

＜フレイドゥリア・ラス・フローレス＞

夕食はいかにもカディスらしいところ、レストランではなく気軽なバルでと考え、ガイドブックでは一押しの「freiduría」、つまり揚げ物屋さんに行くことにした。

Plaza de las flores 花の広場という名前どおり、広場の中央にぎっしり花屋の屋台が並ぶ広場に面して、「フレイドゥリア・ラス・フローレス」がある。絶えず揚げ物の匂いが立ち込める飾り気のない店だが、昼も夜もいつ通ってもにぎわっている。

ここでとうとう、避けていたカディス名物「ペスカイート・フリート」に挑戦した。色々な魚のフライが、大盛りで皿に載せられてくる。しかし、恐れていたほど脂っこくはない。油の匂いも悪くない。揚げ方はさすがに上手。値段も安いし、旅の土産話に1回は食べてもいいだろう。

ベントリージョ・デル・チャトの店内

バルのカウンターには、フライだけでなく、ちょっとしたタパスも並んでいる。ビールを飲みながら、紙に包んでフライを買っていく地元の人たちの様子を見ているのも楽しい。

食事を終えて歩いていくと、12月だというのにちっとも寒くないカディスの町の通りを、人々は軽装で夜もそぞろ歩いている。食後の一杯はテラスに座って、と言えるのがこの夜の最高の贅沢だったかもしれない。

＜メルカド・セントラル＞

知らない町に行って、そこの食を手っ取り早く把握するには、市場に行くのが一番の近道だ。カディスの公営市場は、細い路地と小さな広場が連なる旧市街の一角にある。まずは鮮魚店の固まっているコーナーへ。

マグロの巨大な切り身がごろごろ転がっている。小型とはいえ、明らかにサメの顔をした魚も並んでいる。エビ、イカ、タコの専門店、貝類の専門店、燻製の専門店。いくら歩き回っても飽きない、市場の活気と喧騒がある。

写真を撮らせてもらいながら歩いているうちに、巨大なカジキマグロの頭を飾っている店に出会った。これで何キロくらい？近くで捕れるの？どんな料理にするの？次々と繰り出す私の質問に、お店のお兄さんが親切に答えてくれる。彼、フェルナンドは地元カディスの生まれで、ダイビングが好きな鮮魚店オーナーだ。

「カディスといえばマグロ漁。だけど、ほかにもうまい魚は色々ある。季節によっても変わる。カマロンは今の時期は捕れないから、揚げて売っているのは冷凍だね。食べ歩きするなら、冷凍ものを買わない店、毎日シェフが自分で市場に来て魚を買っていく店をチェックしなくてはダメだね。」

今度カディスに来るときは、色々お店を教えてもらう。それまではネット上で情報を交換していこうと約束するとフェルナンドは、マグロのうしろからアイフォンを取り出して、にやっとしてみせた。

フィデオ・コン・カバジャ

ソパ・デ・トマテ

レッチェ・フリータ

＜サン・アントニオ＞

カディスでの最後の食事は、この町が大好きで毎年訪れている友人のお勧め店、サン・アントニオ広場に面したレストラン「サン・アントニオ」に決めた。こじんまりして居心地のいい店内、長年働いている風情のカマレロたち。奥のテーブルには、明らかに毎日ここで食事をしている老紳士がいたり、神父様とその友人たちがにぎやかにテーブルを囲んでいたりと、美味しい料理の出てくる予感がする。

友人が勧めてくれたのは、sopa de tomate トマトスープと fideos con caballaサバ入りのパスタ。どちらもスープの類だが味見したいので両方注文すると、大きな土鍋に並々と入ったスープと、スープ壺いっぱいのパスタが出てきた。

トマトスープと言ってもエストレマドゥーラ風で、パンがたっぷり入った濃厚なもの。上には卵が割りいれてあり、これだけで食事にしてもいいようなボリュームだが、隣りの地方から伝わってきて海辺の町で定着した、滋養あふれる一皿がお腹にやさしい。そしてサバを具として入れたマカロニも漁師町らしい素朴な味わいで、レストランの料理というよりは田舎のおばさんの料理という雰囲気。なんだか下宿の夕食でも食べているような気分になってくる。

メインディッシュは飛ばしてデザートは leche frita レッチェ・フリータを注文する。甘くした牛乳を小麦粉で固めてからフライにしたこのデザート、スペイン北部でもよく食べるけれど、ぷりっと固めた食感、かりっと揚げた衣、たっぷりかけたシナモンの風味はどんな料理のあとにも相性のいい昔ながらのデザートだ。店のお勧め料理をどれも見事にクリアした私に、メトレが食後のお茶とリキュールをサービスしてくれて、旅の最後の食事もめでたく終わったのだった。

さて、私のカディス食べ歩きの旅。読者諸氏は、いったい何日間の旅だと想像なさるだろうか？　実はたった２泊３日の旅だ。その間、ここに記したものだけでなく、カディス名物の菓子 Pan de Cádiz（クリスマス菓子のマサパンの一種）も食べた。Empanada de atún（マグロ入りパイ）　も食べた。オリーブ油を塗って食べるアンダルシア風のトーストの朝食も食べた。そして、どれにも満足した。決して「揚げ物だけのカディス」ではない。

だから、自信を持ってお勧めしたい。カディスへの食べ歩きの旅を。¡Vamos a Cádiz!

文・写真　渡辺万里

渡辺　万里
わたなべまり / Mari Watanabe

学習院大学法学部政治学科卒。
1975年よりスペインで食文化史の研究に取り組むと同時に、スペイン料理界最前線での取材に従事する。
1989年、東京・目白に『スペイン料理文化アカデミー』を開設。さらに各地での講演、執筆などを通してスペイン文化の紹介に携わっている。
早稲田大学文化構想学部非常勤講師。
著書に「エル・ブジ究極のレシピ集」（日本文芸社）、「修道院のうずら料理」（現代書館）、「スペインの竈から」（現代書館）など。

スペイン料理文化アカデミー　http://academia-spain.com
〒171-0031 東京都豊島区目白4-23-2　TEL : 03-3953-8414
スペイン料理クラス、スペインワインを楽しむ会、フラメンコ・ギタークラスなど開催

Información:

El Faro
Calle San Félix, 15, 11002 Cádiz
電話:+34 956 22 58 58

Ventorrilo del Chato
Via Augusta Julia, s/n, 11011 Cádiz
電話:+34 956 25 00 25

Restaurante San Antonio
Plaza de San Antonio, 9, 01101 Cádiz
電話:+34 956 21 22 39

Freiduría Las Flores
Plaza Topete, 4, 11001 Cádiz
電話:+34 956 22 61 12

Mercado Central
Calle Santa Lucía, 10, 11002 Cádiz
電話:+34 956 22 56 61

注意:上記情報は、2013年2月時点のもので変更する可能性があります。

ボデガの街らしく、街中ではいたるところで
シェリー樽がディスプレイされている。

美味いぞサンルーカル！！
～サンルーカル食巡り記～

● 縁あれど、縁遠かったサンルーカルの街

今は去ること20年程前、初めて行ったスペインで、初めて自分で買ったスペインのワインがカディス産の白ワインだった。

店を始めてから知ったのだが、この“Castillo de San Diego（カスティージョ・デ・サンディエゴ）”というワインは、サンルーカル・デ・バラメーダにある有名シェリー蔵のアントニオ・バルバディージョ社が、シェリー用の品種であるパロミノ種を用いて作ったという変わり種で、発売以来人気を得て、今では「アンダルシアで一番売れている白ワイン」らしい。

そんな私が、興味を持ちつつも、なかなか足を運べないでいたのがサンルーカルだった。サンルーカルは、シェリーと同じ製法で作られるマンサニージャの産地として名高い。ヘレスのフィノより軽やかな口当たりで魚介類によく合う。是非、一度現地で飲んでみたいと常々思っていたのだが、そんな折、スペイン帰りの知人から「サンルーカルってイソギンチャク食べるんだよね」などという話を耳にした。そりゃあ、是非食べてみたい！

そしてハブーゴのハモン工場の見学に行った際に、「あとはどこを回って帰るの？」という担当者に「サンルーカルとかかなあ…」と何気なくつぶやくと、「サンルーカル！絶対行くべきだよ！！あそこのトルティジータ・デ・ガンバスはめちゃくちゃうまいよ！」とご親切にも“一番おいしいトルティジータ・デ・ガンバスが食べられる”という店まで興奮した口調で教えてくれたので、そのままサンルーカルへと向かったのだった。

●サンルーカルの食は深し!

街の中心にあるカビルド広場に面しているというその店に早速向かうと、なんと2週間の長期休暇中だった。残念だが、この広場の周りにはバルがひしめいていて、どこの黒板にも “Tortillita de gambas” の文字が躍っている。安くておいしそうな店を物色して、早速、マンサニージャと共に注文。果たして小皿にのって出てきたのは、どう見ても「小エビのかき揚げ」だった。ピコスが添えられているのがタパスらしさを醸し出しているが、さくっとした食感といい、まごうことなき、日本のかき揚げである。

なんだか愉快な気分になった私は、酔った勢いで宿近くのバルに入った。ここでしか飲めない地酒のようなものが飲みたい、と言うと、店員が入り口近くの樽を指差し、「これは今年できたマンサニージャの新酒で、通常のシェリーみたいに酒精強化していないんだ。地元の人は皆、この時期、これを買って飲んでるよ」とサラダ油の入れ物のようなポリ容器を振ってみせた。試飲すると、シェリーのようなそうでないような生っぽい味わい。量り売りという面白さも相まって、つい2リットルも購入してしまった。

翌日、もう一つの目的であるイソギンチャクを食べに繰り出したが、それらしきものが全然見当たらない。おまけに「イソギンチャク」というスペイン語が何だったかどうしても思い出せない。困った私は絵を描いて宿の爺さんに見せ、尋ねてみた。「海の幸の一種で、こんな形したやつなんだけど…」、「ああ、カラコール・デル・マールだな」

……が、やはりどこのバルで聞いてもないという。第一「カラコール」とは「かたつむり」のこと。イソギンチャクに殻などないし、何かがおかしい気がする…。悩んだ私は街の観光案内所で同じ絵を見せ、再度尋ねた。

「ああ、オルティギージャズね。バホ・デ・ギーア（グアダルキビール川の河口沿いに密集する海産物のレストラン街）で食べられるわよ」

そうそう、オルティギージャスだよ!!と蘇った記憶に喜びながら小走りで向かうと、運良く覗いた1軒目で “Hay ortiguillas” の文字が飛び込んできた。出てきたのはフライにされた黒い物体。口に含むと一瞬サクッとしたあと、ぐにゃりという食感と共に磯の香りが口の中に広がった。まるで磯そのものをそのまま無理やり固めてフライにしたような、うまいともまずいとも言いがたい不思議な味だった（ちなみにカラコール・デル・マールとはやはり巻貝の一種だった。私、そこまで絵が下手かしら???）。

くだんのオルティギージャス（イソギンチャク）のフライ。
盛り付けはなかなかおしゃれ!?

日本のかき揚げを彷彿させるトルティジータ・デ・ガンバス

白ワインの銘柄名に使われたサンディエゴ城（Castillo de San Diego）は、サンルーカルの街の高台、製造元のアントニオ・バルバディージョ社の向かいにある

●モスト飲むならサンルーカル!!

帰国後、苦労して持ち帰った生マンサニージャのボトルをカウンターに出すと、「何これ?油?」と皆、不審そうな顔。「これはマンサニージャの新酒で、日本じゃまず飲めない代物なんですよ!」ともったいぶって言うと、「確かに軽いけどシェリーっぽいね」、「シェリーのようなワインのような…でもうまい!」などと口々に感想を述べながら飲んでいた。

スペインではワインの新酒（モスト）の方が有名だが、マンサニージャの新酒の方が断然いける。つまみも海の幸が豊富で文句なくうまい!ヘレスやカディスほどメジャーじゃないけど、サンルーカル、お勧めです!

文・写真　小林みずき

小林みずき
こばやしみずき / Mizuki Kobayashi

早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了。
スペインの食と文化に魅せられ、アンダルシア地方を中心に、スペイン各地を渡り歩く。
ライター業を経て、2003年より、東京・高田馬場にて「スペイン・バルOlé」を経営。著書に「魅せる!フラメンコ・アイテム～カスタネットからマントンまで～」（パセオ）、共著に「南スペイン・アンダルシアの風景」（丸善ブックス）など。

カディスのカーニバル

カディスのカーニバルは、スペインだけでなく世界でも最も有名なカーニバルの１つである。16世紀から毎年2月に開催されてきたこの祭りは、比類のないユーモアや陽気さ、音楽によって広く知られている。

工夫にとんだ仮装やその行列の色彩もさることながら、街中でいくつものグループが歌うユーモア溢れる歌詞をつけたコプラという民謡がその目玉だ。コーラス、チリゴタと呼ばれる歌い手たち、仮装行列、カルテットからなるこのグループは、社会的な階級を問わず様々なメンバーで形成され、毎年集まってはファンを驚かすために新しい歌詞や曲を作っている。コプラは、ユーモアと批判が混在する内容で、カディスの人々の表現の自由を求めている。

このカーニバルがもつ笑いや娯楽、良い雰囲気といった要素、社会や政治への批判的な態度。カーニバルの期間中、人々は街中の通りに溢れ、この祭りを心から楽しむ。

カーニバルの期間中1週間以上にわたって、カディスには、タンゴを歌うコーラスのパレードや仮装行列が観衆にその芸術を披露するための広場に取り付けられたステージ「タブラオ」が現れ、街には陽気な歌い手の一団が溢れる、ここを訪れた人を笑顔にする。

こうしたカディスの人々の想像力やユーモア、才能、気品といったものが、このカーニバルをスペイン中で最も愛される真の祭りの１つにしている。スペインの中でもカディス人は陽気でユーモアのセンスがあることで知られている。彼らは、いつでも訪問者を歓迎し、カーニバルの期間中、この地を訪れた人たちが、最も重要な祭りに参加できるようにと心を配っている。カディスでは誰一人として自分を「よそ者」と感じることはない。

揃いの衣装に身をつつんだ歌い手たち

2012年イベロアメリカ首脳会議

イベロアメリカ首脳会議でカディスに集まった各国首脳陣
写真中央にフアン・カルロス１世

去る2012年11月16・17日、スペイン・カディスにおいて、第22回イベロアメリカ首脳会議が開催された。2012年は「ラ・ペパ」として親しまれているカディスの1812年憲法（世界第3番目のマグナ・カルタ）制定から200周年にあたる記念すべき年であった。

現在22カ国が加盟するイベロアメリカ機構(OEI)は、1991年から毎年各国の首脳を集め、最高水準の国際会議を開催している。この会議では加盟国間の関係や対話の強化を目的に、互いに信頼、協力し合える環境をつくり、経験を共有し、起こりうる問題の解決策を模索している。会議にはOEIの全加盟国の参加が前提とされているが、カディス会議ではアルゼンチン、キューバ、グアテマラ、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラの首脳が様々な理由により欠席となった。

フアン・カルロス1世とアストゥリアス公らの計らいの下に開催されたこの首脳会議には、経済危機に対するイベロアメリカからの支援策を練るという明確な目的があり、国王は「大きな目標」を達成するためには、南アメリカの経済成長や投資家にとっての南アメリカの魅力を有効活用しながら、「協力すること」が必要であると述べた。また、イベロアメリカ事務総長エンリケ・イグレシアスは他の目標として、雇用拡大とイベロアメリカの有能な若い人材活用を掲げた。

今回の首脳会議の参加者はファリャ劇場や1812年憲法が制定されたサン・フェリペ・ネリ礼拝堂など、カディスの町の象徴的な場所を巡った。この1812年憲法は当時において最も自由主義的な憲法の一つであり、現行の憲法の基礎となっている。また、その作成の際にはアメリカ大陸の代議員も加わり貢献した。

「ラ・ペパ」制定200周年を迎える記念すべき年に、第22回イベロアメリカ首脳会議の開催地としてイベロアメリカ文化の首都に選ばれたカディスにとって、2012年は栄光に満ちた輝かしい年となった。

写真左：
ラ・ペパ（1812年）憲法が制定された、サン・フェリペ・ネリ礼拝堂内部

写真上：ファリャ劇場

写真下：
サン・フェリペ・ネリ礼拝堂での記念撮影

foto: manuel fernández

カディス憲法（1812年憲法）

スペイン最初の民主的憲法である、「スペイン王国憲法」、通称1812年憲法、カディス憲法は、ナポレオン戦争の最中の1812年にカディスで作られた。

1808年のナポレオン戦争ぼっ発以降、ヨーロッパはたちまち戦火に巻き込まれ、各地で侵略軍・占領軍に対する抵抗運動・独立運動が起こった。スペインでも、首都マドリードや各地での民衆の暴動、蜂起が頻発し、ナポレオンの実兄が国王ホセⅠ世としてスペインに入るや、国民の抵抗運動は、その後「ゲリラ戦」という言葉として世界中に知られるほどに、激しさを増す。

ナポレオン戦争中、スペイン各地に地方評議会が作られ、そしてそれらをまとめる形で成立した中央最高統治評議会が臨時政府の役割を果たした。また1810年には、唯一戦火をまぬがれたカディスで国民議会が招集され、1812年3月19日に、フランスがスペインに押し付けたバイヨンヌ憲法に代わる新しい憲法が制定された。これがカディス憲法である。

カディス憲法は、プロシア憲法や大日本帝国憲法のような君主主権ではなく、国民主権を謳っていた。また三権分立による国家機構・国家機関の種類と役割、それらの権限、国民の権利・義務が明記された。加えて、カトリックが国教として規定され、国民の慈愛、隣人愛なども強調されている。

国家憲法としてのカディス憲法の生命はわずか二年と短く、ナポレオン戦争後の1814年、王座に返り咲いたフェルナンドⅦ世により失効が宣告されている。だが、中南米諸国がスペインから独立する際に、カディス憲法をもとに自分たちの国家の新しい憲法を作ったことを考えれば、カディス憲法はまさに、世界に影響を与えた憲法といえるだろう。

文　島田　顕

カディスの歴史

カディスの歴史は意外に古い。紀元前12世紀、海の民として知られたフェニキア人はこの地に天然の良港を発見、地中海交易のための港湾都市を建設した。カルタゴによる支配も経験するが、フェニキア時代、その後のギリシャ・ローマ時代にカディスは地中海交易の港町として莫大な富を為政者にもたらす。一時西ゴートに占領され、さらにイスラム時代には衰退するものの、レコンキスタ期の1266年には、アルフォンソⅩ世によりこの地が完全にスペイン人のもとに戻る。大航海時代の1492年には、ジェノヴァ生まれのイタリア人、コロンブスが、カディスから新大陸発見の旅に出発した。以後、スペインの植民地となった中南米から、カディスを経て、スペイン、そしてヨーロッパに銀や香辛料がもたらされた。カディスは植民地経営基地として、スペインを繁栄に導いたのである。

1588年のスペインの無敵艦隊と、ドレーク率いるイギリス海軍との海戦でスペインが敗れると、カディスも衰退の道を歩むようになる。ナポレオン戦争期にカディス憲法がこの地で作られたが、その後の歴史で政治の表舞台に立つことはなくなった。しかし、その後も貿易港、漁業基地、また造船業などの工業都市、さらに軍港として、カディスは周辺の港湾都市とともに発展を続けている。

文　島田　顕

島田 顕
しまだあきら / Akira Shimada

1965年横浜市生まれ。
法政大学文学部史学科卒業、一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。モスクワ放送日本語課翻訳員兼アナウンサーを経て、法政大学理工学部講師。博士（社会学）。
著書に、『ソ連・コミンテルンとスペイン内戦――モスクワを中心にしたソ連とコミンテルンのスペイン内戦介入政策の全体像』（単著）、『コミンテルンが描いたユートピア　スペイン人民戦線政府・共和国論』（単著）、など。

AGRADECIMIENTO ESPECIAL

今号の特集記事を編集・掲載するにあたって、カディスにある５つの語学学校にご協力頂きました。
・スパニッシュ・イン・カディス
・メルカート
・ガディール
・K2インターナショナル
・クリック IH カディス校
ご協力頂きました学校の皆様には、この場をかりまして、深く御礼申し上げます。

[sic] Spanish in Cadiz
C/ Condesa Villafuente Bermeja 7
11008, Cádiz, España
Tel.: +34 956 252 724 Fax: +34 956 259 230
www.spanishincadiz.com
E-mail: administracion@spanishincadiz.com

Centro Internacional de Idiomas Melkart
C/ General Menacho 7, 11004, Cádiz, España
Tel.: +34 956 222 213 Fax: +34 856 174 283
www.centromelkart.com
E-mail: info@centromelkart.com

GADIR
C/ Pérgolas 5, 11007, Cádiz,España
Tel. y Fax: +34 956 260 557
www.gadir.net
E-mail: info@gadir.net

K2 INTERNACIONAL
Plaza Mentidero 19, 11003 Cádiz, España
Tel. y Fax: +34 956 212 646
www.k2internacional.com
E-mail: info@k2internacional.com

CLIC INTERNACIONAL HOUSE CÁDIZ
C/ de las Acacias, 13, 11007, Cádiz, España
Tel. y Fax: +34 956 255 455
www.cadiz.clic.es
Email: infocadiz@clic.es

© Fotos cedidas por el Excmo. Ayuntamiento de Cádiz y Luis Garrido

スペイン語特別コース開講のご案内

1. スペイン語圏の観光業
Español para guías de turistas del mundo hispánico

スペイン語圏から日本を訪れる人々に日本の魅力を伝えるために必要な語彙・文法を学ぶコース。

1.- Vocabulario específico.
2.- Interacción oral.
3.- Documentación.

2. スペインの食文化
Gastronomía

料理人、ソムリエ、料理学校の学生などとして、将来スペインの食文化に関わりたいと考えられている方のための準備コース。(全レベル対象)

1.- Introducción a la gastronomía española.
2.- Vocabulario específico y técnico.
3.- Prácticas especializadas de audición.
4.- Prácticas especializadas de expresión oral.
5.- Lectura de textos gastronómicos.

3. スペイン語の総合学習：文法、会話、文化など
Ampliación de estudios hispánicos: gramática, conversación, cultura

スペイン語圏の国々と文化についての知識を深めながら、中上級レベルのスペイン語の口述と記述の能力を高めると同時にスペインとスペイン語圏の文化の知識を広げるコース。

1.- Conversación.
2.- Gramática.
3.- Cultura.

4. スペイン語の技能強化
Especialización en destrezas del español.

中上級レベルの学習者を対象とし、読む・書く・話すといったような基本的なスペイン語の各技能で高いレベルを目指すコース。

1.- Taller de lectura.
2.- Taller de escritura.
3.- Prácticas de audición.
4.- Prácticas de expresión oral.

5. 外国語としてのスペイン語教育教師養成
Formación del profesorado de ELE

既に一定レベルにあるスペイン語学習者が、大学や高校などをはじめとする教育機関で、外国語としてのスペイン語を教える能力を有するスペイン語教育教師を養成するコース。

1.- Introducción a la didáctica de ELE.
2.- Didáctica de la gramática.
3.- Didáctica de las destrezas lectoescritoras.
4.- Didáctica de las destrezas orales.
5.- Prácticas.

6. スペイン語力の維持
Actualización y/o recordatorio del español.

留学や、スペイン語圏の国に滞在経験のある方を主に対象とし、それまでに身につけられたスペイン語のレベルを維持するだけでなくさらに高いレベルを目指すコース。

1.- Gramática.
2.- Vocabulario.
3.- Lectoescritura.
4.- Oralidad.

7. スペイン文化
Cultura española.

映画、文学、音楽、芸術、歴史など、スペインの豊かな文化について造形を深めることができるコース。

1.- Introducción a la historia de España.
2.- El cine español.
3.- La literatura española (historia y actualidad).
4.- La música española.
5.- El arte español.

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

8. ラテンアメリカの文化
Cultura hispanoamericana.

映画、文学、音楽、芸術、歴史など、ラテンアメリカの豊かな文化について造形を深めることができるコース。

1.- Introducción a la historia de Hispanoamérica.
2.- El cine hispanoamericano.
3.- La literatura hispanoamericana.
4.- La música hispanoamericana.
5.- El arte hispanoamericano.

9. 検定試験、大学編入準備コース
Preparación para los exámenes oficiales y de ingreso en los departamentos de Estudios Hispánicos en las universidades.

DELE試験への合格や、もしくは日本の大学のスペイン語学科への編入を目指す方を対象としたコース。

1.- Gramática
2.- Lectoescritura
3.- Entrevista
4.- Audición

10.スペイン及びラテンアメリカ文学
Literatura española e hispanoamericana.

スペインやラテンアメリカの偉大な作家やその作品についての知識を深めると同時に、読解及び記述能力を高めるコース。

1.- La poesía española.
2.- La narrativa española
3.- El teatro español.
4.- La poesía hispanoamericana.
5.- La narrativa hispanoamericana.
6.- El teatro hispanoamericano.

11.スペイン語文法上級
Gramática avanzada del español.

既に中上級レベルのスペイン語力を有する方を対象とし、文法の理解を深めることによって、記述能力や討論などでの口述能力を高めることができるコース。

1. - Morfología nominal y verbal.
2.- Sintaxis avanzada.
3.- Trabajo con los elementos problemáticos del español: estructuras con SE, pronombres, uso del subjuntivo /indicativo, presencia/ ausencia de EL /UN, etc.

12.スペイン語のアカデミックライティング
Escritura, lectura e interpretación de textos académicos.

主に大学生を対象として、スペイン語でのアカデミックライティングや、学術的な文章を理解するのに必要な知識を学ぶコース。

1.- Instrumentos básicos de los textos escritos académicos.
2.- Lectura y escritura de ensayos.
3.- Lectura y escritura de textos científicos y humanísticos.

13.スペイン語圏の現代社会
Introducción a la realidad social de España e Hispanoamérica.

スペイン語圏の国々の経済や社会の現状について学ぶコース。

1.- Gramática
2.- Lectoescritura
3.- Entrevista
4.- Audición

14.スペイン語圏の職業訓練
Capacitación laboral en el mundo hispánico

スペイン語圏の国々で仕事をするために必要な知識を学ぶコース。

1.- Introducción a la didáctica de ELE.
2.- Didáctica de la gramática.
3.- Didáctica de las destrezas lectoescritoras.
4.- Didáctica de las destrezas orales.
5.- Prácticas.

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

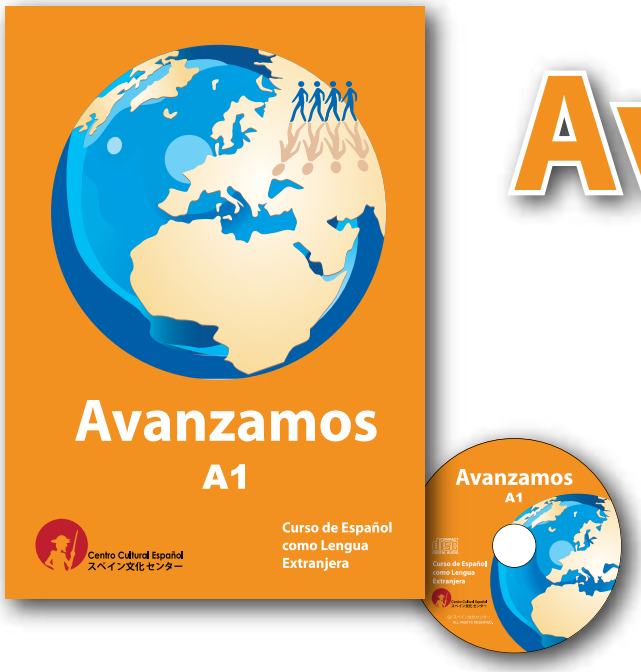
スペイン語教室　ADELANTE
〒530-0011 大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館2Ｆ

Tel: 06-6346-5554
Fax: 06-6110-5122
email: info@adelante.jp
www.adelante.jp

www.adelante.jp

ADELANTEはスペイン語
スペイン語はADELANTE

アデランテでは、スペイン語特別コースの開講を予定しています。
このコースは既にある程度のレベルをもつスペイン語学習者を対象に、スペイン語で興味のある分野を専門的に学ぶことができます。（ただし、スペイン語の知識が十分でない場合でも、別途スペイン語コースをご用意しております。）
個人レッスンのため、コース開始前に各自がレベルを把握し、目標の設定を行うことが不可欠です。講師は、それぞれのコースの受講生が、各授業の中で最大限に学ぶ事ができるよう、それぞれの学生に合わせたプログラムの調整を行います。
また、各コースでは規定のセッション数を受講していただきます。コース終了にかかる時間は、受講者のニーズに合わせて調整可能。
１週間程度の短期集中から、より長い期間の受講までご都合に合わせて受講できます。（１セッション50分）
特別コースは、日本とスペインの大学で教育に携わった熟練講師が担当します。



Avanzamos
A1

新学期キャンペーン！
2013年4月末までに10冊以上
ご注文いただいた方には、
30%割引いたします。
定価：1,890円（税込）

本書は、初めてスペイン語に触れる方を対象とした入門者向けスペイン語テキストです。
個人授業、グループクラスの両方で使用可能。８課から構成され、A1レベルに相当する口答表現、文章読解、聞き取り、読解の４技能を伸ばしながら、２セメスター（１年間）かけて学習できるため、大学でのスペイン語の授業にも最適です。
カラフルな写真やイラストが多く使われており、スペイン語学習に自然に親しむ事が出来るよう視覚およびコミュニケーションに重点を置いて作られています。このテキストの終了時には、完璧ではないものの、現在完了を使って過去を表現し、【ir a ＋不定詞】を使って未来を表すことが出来るようになります。

【お問合せ・ご注文は】有限会社アデランテ TEL: 06-6346-5554

スペイン＆中南米への留学相談、手続き代行無料サービスのスペイン留学．ｊｐ

スペイン留学ガイド

地方ごと異なる特色を持った魅力溢れる国、スペイン♪
あなたはスペインと言ったら何を思い描きますか？
フラメンコ、サッカー、闘牛、白い家、サグラダ・ファミリアなど…
お気に入りの街が見つかれば、きっと、より充実した留学生活になることでしょう。
留学準備の第一歩は、学校を探すことから始まります。
ここでは、代表的な留学先をいくつか紹介していますが、この他にも多くの学校をご用意しております。
まずは、電話やメールでご相談下さい。スペイン留学．jpでは、カウンセリングを行い、一人一人のご希望に合った学校を提案いたします！

※料金は1€＝125円で計算した2013年2月のものです。入学金や宿泊先斡旋料、夏期料金等が加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。

サラマンカ

1218年に創立されたスペイン最古の大学がある学生の街。カテドラル、大学、貝の家、マヨール広場など美しい建物が多く、旧市街全体が世界遺産に登録されています。

<コレヒオ デリベス>

	2週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	336€ / 42,000円	2.600€ / 325,000円
☆ホームステイ（個人部屋・2食付）	266€ / 33,250円	3.192€ / 399,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	210€ / 26,250円	1.860€ / 232,500円

セビーリャ

太陽と青い空が似合うスペイン南部、アンダルシア地方にある歴史的な街。スペインの三大祭りのひとつである、春祭りでも有名です。バスや電車で少し足を延ばすと、まるで絵ハガキのような白い村が点在し、陽気でのんびりとした空気を肌で感じることができます。

<クリックIH　セビーリャ校>

	1週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	175€ / 21,875円	3.360€ / 420,000円
☆ホームステイ（個人部屋・2食付）	160€ / 20,000円	3.840€ / 480,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	100€ / 12,500円	2.400€ / 300,000円

マラガ

コスタ・デル・ソルの中心地として有名なリゾート地。ピカソの出身地としても有名で、街にはピカソの生家や美術館などもあります。国際空港があり、便利なアクセスも魅力の一つです。

<デブラ>

	1週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	184€ / 23,000円	3.582€ / 447,750円
☆ホームステイ（個人部屋・2食付）	212€ / 26,500円	4.488€ / 561,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	140€ / 17,500円	2.664€ / 333,000円

サン・セバスティアン

フランス国境近くに位置し、バスク地方独自の文化が息づく街。「美食の都」として有名で、美味しい魚介類やピンチョスが堪能でき、数多くのバルが軒を連ねる通りはいつも賑わっています。

<ラクンサ・インターナショナルハウス>

	1週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	158€ / 19,750円	2.832€ / 354,000円
☆ホームステイ（個人部屋・2食付）	216€ / 27,000円	5.184€ / 648,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	114€ / 14,250円	2.736€ / 342,000円

マドリード

世界的に有名なプラド美術館や王宮、レティーロ公園など見所がいっぱいの活気溢れる、スペインの首都。休日にはショッピングやバル巡りを楽しんだり、アート鑑賞に耽ったり・・・。

マドリードはスペインのほぼ中心に位置するため、他の都市へのアクセスも良好です。

<エウレカ>

	1週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	200€ / 25,000円	3.445€ / 430,625円
☆ホームステイ（個人部屋・3食付）	210€ / 26,250円	5.040€ / 630,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	150€ / 18,750円	2.850€ / 356,250円

バレンシア

火祭りとパエージャ発祥の地として有名な、スペイン第３の都市バレンシア。地中海性の温暖な気候で、ビーチリゾートとしても知られています。

<コスタ・デ・バレンシア>

	1週間あたり	24週間あたり
★一般集中スペイン語コース（20時間/週）	175€ / 21,875円	3.085€ / 385,625円
☆ホームステイ（個人部屋・2食付）	175€ / 21,875円	4.200€ / 525,000円
☆共同アパート（個人部屋・食事なし）	110€ / 13,750円	2.640€ / 330,000円

ご出発までの流れ

1. 留学カウンセリング、お見積り
   「どの街にしよう？」「費用はどれくらい？」「何から準備すればいいの？」など、漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずはメールやお電話でお気軽にご相談下さい。
2. 具体的に学校、コース、滞在スタイルなどのプログラムが決まれば、留学手続代行申込書を提出
3. 入学手続き開始
4. 航空券や保険、国際キャッシュカードなどの情報収集
5. 学生ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集め、在日スペイン大使館へ提出
   90日以内の留学なら学生ビザは不要ですが、91日以上の留学には学生ビザが必要です。短期学生ビザ（91日以上180日以内）取得の場合は、ご出発の約2ヶ月前、長期学生ビザ（181日以上）長期ビザ取得の場合は、ご出発の約3ヶ月前に時間に余裕を持って提出して下さい。
6. 留学費、海外送金手数料のご入金
7. 航空券、海外保険、学生ビザなど必要なものが揃えば、いよいよご出発！

<当サポートサービスの範囲>
- ・選択された学校への出願サポート
- ・サポート依頼を頂いた学校が手配するホームステイ、学生寮、共同アパート等の宿泊先申込手続（混雑状況によりご希望に添えない場合がございますので、事前にご確認下さい。）
- ・留学費用の海外送金
- ・空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行

※未成年の方は、必ず保護者の方に同意を頂いた上、お申込み下さい。
※パスポートやビザの申請、航空券・海外保険の手配等は含まれません。各自でご準備下さい。
※海外送金手数料（約7,500 円）はご負担となります。

よくあるご質問

Q 語学プラスαでどんな事ができますか？

A フラメンコ、サルサ、スペイン料理、ワインテイスティング、ゴルフ、テニス、サーフィン、スキューバダイビング、スペインタイルなど・・・、様々な楽しいプログラムをご用意。また、50歳以上の方向けに、ゆっくりスペイン語を学び文化を楽しむコースもあります。

Q 留学の費用はどのくらいかかりますか？

A 主にかかる費用の内訳は、入学金、教材費、授業料、滞在費、航空券代、保険代です。学校のプログラムや、宿泊タイプ、都市によって、かかる費用は大きく違ってきます。長期留学される方向けに受講料の長期割引がある学校もあります。

Q どんな滞在スタイルがありますか？

A ホームステイ、共同アパート、学生寮、個人フラット、ホテルなどがあります。

スペイン留学．ｊｐでは、ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。
漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずは、お気軽にご相談下さい。

【お問合せ】
スペイン留学．ｊｐ
URL：www.spainryugaku.jp
お電話：06-6346-5554
E-mail: info@spainryugaku.jp

https://www.facebook.com/spainryugaku.jp

いいね！ をクリック！
今すぐスペイン留学の最新情報を入手しよう！

スペインバスク
サンセバスティアンでおいしい生活②

ここサンセバスティアンを筆頭に、今やバスク地方は「美食の街」としてその名を知られてきている。実際、1㎡あたりのミシュラン星つきレストランの数は、パリに並び世界のトップだ。しかし、サンセバスティアンが美食の街として注目されている理由はそれだけではない。

もうひとつの由縁。それはなんといってもこの街に根付くバル文化だろう。週末の夕方ともなると、サンセバスティアンの旧市街は、人々のエネルギーと、色鮮やかで個性的なピンチョスでうめつくされる。

前回に引き続き、このサンセバスティアンの食文化の魅力に引き付けられ、こちらで料理修行中の埴岡さんのインタビューをお届けします。

埴岡龍顕
(はにおか たつあき)

2012年の5月からサンセバスティアンに留学中。現在、ラクンサでスペイン語を勉強しながら、地元のバスクバルのキッチンで料理の修行をしている。

Q. 現在はどんな生活を送っているのですか？

→ *現在も引き続き午前中はラクンサでスペイン語を勉強し、午後は地元のバルのキッチンで研修をさせてもらってる毎日です。休日は地元の友達や彼女と一緒にバル巡りをしていますね。*

Q. バスク地方の食文化の何が好きですか？

→*なんといっても、私はピンチョス文化が大好きですね。バルはいつでも人々の笑い声で溢れ返って、気の知れた仲間とおいしいピンチョスをつまむ、最高ですね。正直、自分は「ワインは飲む前に空気をいれなきゃいけない」とか大嫌いなんです。そんなのどうだっていいじゃないですか。(苦笑)*
こちらのバルでは、洗い立てのまだ水が切れきれていないグラスにワインを注がれることだってあるし、ちょっとだけお皿が汚れてることだってある。(笑)
でもそんなのご愛嬌なんですよ。バスク人たちはおしゃべりに夢中で、そっちが楽しすぎて、そんなことをいちいち気にしている暇がない。そんな雰囲気で食べるピンチョスが大好きなんです。おいしければいい、楽しければいいんです。

Q. 日本の料理人として、バスクの料理の世界ではどのように見られていると思いますか？

→*私のレストランのボスからは、「日本人はきっちりしているから大好きだ」と言われたことがあります。本当に普段は大雑把で楽しいことが大好きなこっちの人ですが、料理となると話は別。いかに無駄を省くか、いかにおいしく食べてもらえるか、それに対する情熱は日本もバスクも一緒ですね。でも、日本のように上下関係は厳しくないのが印象的でした。働くときは一生懸命集中して働く。それ以外は先輩も後輩も口笛ふいて、おしゃべりして楽しむ、それがバスク流のようです。*

Q. 将来のプランは何ですか？

→*スペインでもうしばらく修行をし、その後は日本のレストランでももう少し修行を積みたいですね。その後は、日本でこっちのバルのように開放的で気さくなスペインバルをオープンしたいです。*

レポート　沼山香織

サンセバスティアンのスペイン語学校
Lacunza ih SAN SEBASTIAN
www.lacunza.com
Email: info@lacunza.com

簡単に作れるおいしオシャレピンチョレシピ

<材料>
マッシュルーム　1パック
にんにく　4片
玉ねぎ　中半個
小麦粉　中さじ1杯
白ワイン　半カップ
熱湯　半カップ
フランスパン
チキンスープの素　1コ

<作り方>
①にんにくと玉ねぎをみじん切りにし、たっぷりめのオリーブオイルでしんなりするまでいためる。
②玉ねぎの色がかわったら、石つきを取り除いたマッシュルームを加えて20分ほど、マッシュルームにしっかり熱が加わるまでいためる。
③しっかりマッシュルームに火が通ったところで、小麦粉を入れて数分炒め、粉っぽさがなくなったところで、白ワイン、熱湯、チキンスープの素を入れて蓋をし、さらに20分から30分ほど火を通す。
④マッシュルームを鍋から取り出し、残りのスープをミキサーにかけてなめらかにする。
⑤20cmほどの竹串に、マッシュルームを2個から3個刺す。事前に3cm程に切り、オーブンでカリっとするまで熱を通しておいたフランスパンに先ほどのマッシュルームを刺した竹串を刺す。
⑥最後に、上から先ほどのソースをたっぷりかけて完成！

埴岡さんお勧めのpintxosベスト3

1. BROCHETA DE GAMBAS
(えびの串刺し)
Goiz Argi (Fermin Calbeton, 4 - San Sebastián)
2. HONGOS A LA PLANCHA(ポルチニ茸の鉄板焼き)
La Cepa (Calle 31 de Agosto 7 - San Sebastián)
3. TARTA DE QUESO(チーズケーキ)
La Viña (Calle 31 de Agosto 3 - San Sebastián)

注意：上記情報は、2013年2月時点のもので変更する可能性があります。

沼山 香織 (ぬまやま かおり)

東京の旅行会社に勤務後、2010年よりスペインバスク地方に在住。現在は、サンセバスチャンにあるスペイン語学校、Lacunza(ラクンサ)にて働く傍ら、バスクを中心に日本からの旅行者のアテンド・コーディネートを行っている。
Email：xo.kaori.xo@gmail.com

FEDELE

III ENCUENTRO DE CENTROS ELE
CÁDIZ 2012

2012年11月20、21日の2日間、FEDELE（スペイン語学学校連盟）主催による、III ENCUENTRO DE CENTROS ELEがカディスで開かれました。

この会には世界各国からスペイン語教育に関わる方々が参加し、語学学校の視察や、学校関係者との面談などを通して、この地のみならず、スペインにおけるスペイン語教育の現状を知る機会となりました。

スペイン語教育センターの第三回年次会を開催できたことを誠に喜ばしく思います。世界各国からお集まりいただいた招待者の皆様に、FEDELEの2つのビジョンをご提示できるのは光栄なことです。2つのビジョンとは、すなわち、センターにおける高い教育の質と専門性、そして、同センターが位置する街の魅力と多様性です。
カディスのセンターでは、スペイン語講座の受講生の皆さんに同センターの教育レベルの高さを実感していただけたのではないかと自負しております。

また、世界中のスペイン語教員の皆様の学生たちが、毎年、FEDELEの語学センターで学ぶ意義やメリットを先生方に評価していただけていることを嬉しく思います。

われわれFEDELEは、今後も様々な企画やイベントを通して、世界規模でスペイン語教育を後押しできるようにサポートしていきたいと思っている次第です。

文　Ana Cózar

Ana Cózar　アナ・コサール

1977年、カディス県アルコス・デ・ラ・フロンテーラ生まれ。
大学では言語学を専攻。国際プロジェクトの専門家。
2009年よりFEDELEのマネージャーを努める。

スペイン　マドリードの語学学校

Madrid Plus
マドリード・プルス

マドリードの中心部、プエルタ・デル・ソルからわずか2分のところに位置する語学学校『MADRID PLUS（マドリード・プルス）』。校舎の主要部が20世紀初頭に建てられた美しい建物の最上階にあり、2つあるテラスからは素晴らしい眺めが広がっています。

経験豊かな熱意溢れる教師陣による、コミュニケーションを重視したレッスンで楽しくスペイン語を学んでみませんか？

1週間のプチ留学から長期留学まで期間は自由に選べます。宿泊には、校舎と同じ建物に併設の学生寮、共同アパート、ホームステイ、またホテルなど様々な選択肢をご用意。

また、映画や演劇を観に行ったり、教師との食事会、展覧会に行くなど、様々なアクティビティが用意されているため、授業以外の時間も楽しく過ごしていただけます。

基本情報

創設	1990年
年間生徒数	500人程度
平均年齢	22歳（ハイシーズン）
	28歳（オフシーズン）
学生の国籍	ドイツ、イタリア 他

コース

☆ 一般スペイン語コース
（言語と文化について学ぶコース）

- 週あたり10/20/30レッスン
- 1クラス最大10名

その他様々なコースがあります
◎ ビジネススペイン語
◎ DELE対策コース
◎ プライベートコース　他

Aprender español en Madrid

観光の見所がたくさんのマドリード。友達になったクラスメートと出かけてみましょう。
授業で習ったスペイン語を実践するチャンスです！

世界中からやってきたクラスメートたちと楽しくスペイン語を学べます。

Academia Madrid PLUS
アカデミア　マドリード・プルス
住所: Calle Arenal, 21 – 6º. 28013 Madrid - ESPAÑA
電話番号: +34 91 548 11 16
Fax番号: +34 91 559 29 04
Email: info@madridplus.com

clic

Centro de Lenguas e Intercambio Cultural

クリック clic ih Sevilla 人気のコース

スペイン・セビリアの中心部にございます語学学校クリックclic ih Sevillaでは、最短一週間から長期まで幅広い内容のコースをご案内しています。
DELE 検定試験やビジネススペイン語検定の準備コース、スペイン語+フラメンコなどのほか、50 歳以上向けの方のコースもございます。
中でも最近注目されているのがインターンシップのコースです。
スペイン語を学ぶ目的の一つとして、将来スペイン語を使った仕事に就きたいと思っていらっしゃる方が多いかと思います。
当校のスペイン語プラスインターンシップコースで行う研修先でのインターンシップを通じて、スペインで職業研修が出来るだけでなく、仕事で使うスペイン語を学ぶことが出来ます。このオプションには、スペイン企業でのインターンシップが8～12週含まれており、外国人の生徒さんはこれまでの職業経験や学歴の内容に沿った分野の企業に配属されます。多文化の中で研修を行い、国際的なビジネスのネットワークを得ることが出来る貴重な機会です。
スペイン語コース2 週間以上+インターンシップ8-14 週間で承っております。

インターンシップ体験談

20代後半、女性

3ヶ月間clic に在籍し、語学レッスンの傍ら、学校の図書室でインターンシップを行い、主に外国人生徒に対し、本やDVD の貸し出し、終了証の発行、スペイン人との語学交流のアレンジ等の手続きを担当しました。
インターンに来ている外国人は主にEU 諸国の方々で、外国人同士スペインのカルチャーについて討論する事もあり、色々な国の人達と直接インターンを通して交流出来たのは貴重な体験でした。
同じヨーロッパ圏内で、同じラテン語系の隣国でも、皆それぞれの文化がありスペインと自国を比べて話すのが興味深かったです。

現在は clic でインターンをしていた経験を活かし、ブランドショップの店員として毎日働いていますが、clic との一番の違いは、主にスペイン人相手の仕事なので、言葉の面でとても気を遣います。特にUsted の使い方と、アンダルシアは早口なので耳が慣れるまでまだ少し時間が掛かりそうです。

先日は、プレゼントを買いにいらしたお客様の聞き違いをした事がきっかけでその方と仲良くなりました。“Me gustaría regalarla algunos detalles.”を“de taquitos”(生ハム等の角切り)と勘違いしてしまったのです。今思えば全く似てないですが・・・(笑)その方曰く、”ここは皆、早口だからねぇ～“との事。初対面の人と仲良くなれるのはスペインならではだと思います。
私は日本では大阪に10年近く住んでいたこともあり、セビリアは何処かしら関西の雰囲気を感じる場所です。週に何回かは日本のお客様も来られるので、日本語を喋る機会もあります。

スペイン生活1年半なので、まだまだ学ぶ部分も沢山あり、未だにカルチャーショックの毎日ですが、楽しい日々を送っています。

amar, vivir y sentir en español

当校の日本人留学生からのコメント

20歳・女性 2012年4月から1年間

あなたのクラスや授業風景を教えてください:
クラスは大体6名で、クラスメイトの国籍はアメリカ、スイス、オーストラリア、ブラジ ルなどで、現在日本人は私1人です。 先生はみんな熱心で、工夫を凝らした授業をしてくれます。 教材は分かりやすいですが、最初は単語が全く分からなかったので、辞書で調べてから 授業に出るようにして遅れないようにしていました。セビージャの道の名前の由来を教え てもらい実際に街に出る授業が面白かったです。

授業以外のアクティビティーについて:
アクティビティーは毎週の映画鑑賞やサッカーの練習試合、週末の遠足などは費用も安く、または無料で充実しています。特に春夏は面白いアクティビティーが多かったです。

宿泊先:
現在は学校で知り合った友達と見つけたピソで暮らしていますが、最初の数ヶ月は学校で 手配していただいたホームステイ先でお世話になっていました。小さい子供がいる家庭だ ったのですが、当初全くスペイン語が分からなかった私にゆっくりと分かりやすく話して くれたり、色々な単語や習慣を教えてくれたりと、とても親切で料理も美味しく、家も きれいで快適に過ごせました。その子供の面倒を見ることもあったのですが、そのおかげ でかなりスペイン語を話せるようになりました。 DELE を視野に入れている方はDELE のクラスもあり、会場もclic なので便利だと思いま す。

どんな人にお勧めの学校だと思いますか？:
勉強も遊びも充実させたい人にお勧めします

ih International House Sevilla y Cádiz

クリック・インターナショナルハウス・セビリア&カディス
Email: japan@clic.es （日本語でどうぞ）
www.clic.es

VEN AL COLEGIO DELIBES...
¡ SALAMANCA TE ESTÁ ESPERANDO !

コレヒオ デリベスにお越しください。　サラマンカがあなたを待っています！

歴史、芸術、学生の街として有名なサラマンカ。
この街では、訛りのないスペイン語が話されているため、
スペイン語を学ぶのにぴったりの環境です。

コレヒオ デリベスの教室で学ぶスペイン語は、サラマンカの通りで耳にするスペイン語とまったく同じです。ここでは訛りのない美しいスペイン語を学ぶことができるのです！

また、サラマンカは大都市の利便性と、小さな街の治安の良さや親しみやすい雰囲気の両方を兼ね備えています。

是非、サラマンカへお越しください！
きっとご自分の家にいるような心地よさを感じていただけると思います。

コレヒオ デリベスでは・・

- 個人カウンセリングや希望に応じた柔軟な対応
- 14種類にも及ぶインテンシブコース（1日4〜6レッスン）
- レベルは全14レベル
- 学生は若者からシニア層まで40ヵ国の国々から
- クラスの人数は最大10名
- 学校が厳選した滞在先（ホームステイ・学生寮・シェアアパート・個人用アパート・ホテル）
- スペイン文化やスポーツなど様々なアクティビティを提供
- エアコン完備の26教室と図書室
- スペイン料理教室

colegiodelibes
Y TÚ... HABLAS ESPAÑOL?

Colegio Delibes
Avda. Italia, 21
37007 Salamanca. España

Tfno: +34 923 120 460
Fax: +34 923 120 489
www.colegiodelibes.com
delibes@colegiodelibes.com

日西商業会議所　Cámara de Comercio Hispano Japonesa

マドリードにオフィスを構える日西商業会議所(Cámara de Comercio Hispano Japonesa)は、日本とスペイン間の商業関係促進のために1954年に設立された民間団体です。会員をはじめとして顧客へのビジネスサポート、イベント開催、各種講座の開講、スペイン情報の発信、各種出版など、日本・スペイン間の理解、関係改善に向けた様々な活動をおこなっています。ここでは、日西商業会議所発行『スペイン広報』と記事の一部をご紹介いたします。

今、マドリードの ラストロがアツい！？

マドリードの「ラストロ」と聞いたら、ご存知ラ・ラティーナ地区よりエンバハドーレスに下る一帯の「日曜蚤の市」を想像するだろう。この蚤の市は世界的に有名で多数のガイドブックにも載っているため、毎週日曜午前はマドリードを訪れる観光客でとても賑わっている。多くの屋台が並び、洋服をはじめ服飾小物、台所用品、電気製品など様々な生活必需品が売られている。また古本や、ポスター、中には不思議な骨董品なども見受けられる。バラエティー豊かな品揃えに道行く人は引き寄せられて行く。実はこのラストロに、今、変化が訪れている。その代表的イベントが「ハプニング(Jappenin)」だ。ラストロ地区一角にあるヘネラル　バラ・デ・レイ広場で毎月第２土曜日に開催されるこのイベントは、まさにラストロ新世代の「新マドリード・ラストロ・アソシエーション(La Asociación Nuevo Rastro Madrid、以下NRM)」によるものである。各回テーマが設けられ、それに合わせてラストロ地区に店を構える若手の経営者たちが蚤の市を開く。普段のラストロと違う点は、その趣向である。シンプルな木製ノルディック家具やビンテージの服、インテリアデザインにうってつけの品々が美しく並ぶ。まさに生のショールームだ。ラストロと言うと看板もない建物の前にズラッと古い家具や古着、絵画を並べている出展者も多々あり、買い物する側としては興味をそそられる反面、「一体これは売り物だろうか？」という疑問を抱くのを否めない。そこがNRMの狙いだった。世代が代わりゆくにつれ、時代がもつ流行と噛み合なくなる。客足が遠のき、商業も下降の一途を辿る一方。家具は埃をかぶり、絵画は色褪せていく。そこに新風を巻き起こしたのがNRMであった。2010年７月にNRMを立ち上げ、ラストロ地区を盛り上げようと若手の起業家たちが模様替えに取り掛かった。150年近くの歴史を持つこのラストロ地区を、今風にアレンジしたのだ。営業時間を大幅にチェンジし、日曜午前だけでなく月曜以外の平日もオープン。店内のデコレーションはモダンなスタイルに変わり、まさにアートギャラリーのよう。取り扱う商品は各店舗によるが、昔ながらの骨董品や古道具もデコレーションの力によってみるみる息を吹き返していく。新旧手を取り合って進むラストロ、次は何を起こしてくれるのだろうか。

www.rastromadrid.es/
www.camarajaponesa.es/wp-content/uploads/2012/12/RastroMadrid_NE87.pdf

スペイン情報誌
季刊『スペイン広報』

1985年創刊の『スペイン広報』は、スペインの文化、経済をオールカラー、豊富な写真でお伝えする日本語の季刊誌。日本ではあまり知られていない地域の魅力や祭り、アートの他、奥深いスペイングルメ情報も満載。

www.camarajaponesa.es/jpn/?cat=5

お問い合わせ先
日西商業会議所 / Cámara de Comercio Hispano Japonesa
www.camarajaponesa.es/jpn
camara@camarajaponesa.es ☎ (+34) 91 851 12 11
✉ Apartado 10124 – 28080 MADRID - SPAIN

過去分詞について

今回からしばらくは動詞の「非人称形」(formas no personales,「不定形」とも言う）について学ぶ予定です。

非人称形とは何でしょうか。スペイン語の動詞は通常、現在形であれ過去形であれ主語に応じて変化させて使いますよね。

yo trabajo, tú trabajas, él trabaja, ...しかし、例外的に人称を持たない形が存在します。それは、不定詞（infinitivo）、現在分詞（gerundio）、過去分詞（participio pasado）の三兄弟です。

今日はこのうち過去分詞を考察します。

まず、分詞（participio）とは何でしょうか。英語でも使ったので聞きなれた用語ですが、深く意味を考えたことがない人が多いのではないでしょうか。「分詞」とは「分かち持つ言葉」という意味です（parteに関係）。何を分かち持つかと言うと、過去分詞は2つの機能を半々で持っているのです。それは動詞と形容詞です。動詞でありながらその文法機能が形容詞であるということです。そしてその意味は「〜された」となります。つまり、過去分詞は「受身」と「過去」の意味を持っているのです（「過去」より「完了」がよいという意見もあるでしょうが「過去分詞」の用語が定着しているのでここではそうしておきましょう）。もちろん例外もあり、自動詞（目的語を取らない動詞）の過去分詞は「受身」の意味にはなりません。

例：caer「落ちる」→ caído「落ちた」

さて、それではまずその形式から見ていきましょう。言うまでもなく、規則形は、**-ar** > **-ado**, **-er** > **-ido**, **-ir** > **-ido**と作ります。不規則的なものに**abrir** → **abierto**, **volver** → **vuelto**などかあり、多くが**-to**で終わります（これらはラテン語の語尾-tuを濁らないで保持）。**-cho**となるものは次の２つです。**decir** → **dicho**, **hacer** → **hecho**

初級の教科書にはあまり書いていない二重過去分詞に触れておきましょう。次の動詞は規則形と不規則形の2つの過去分詞を持っています。

例：imprimir → imprimido, impreso；　freír → freído, frito

完了形や受動態を作るときなどは、どちらの形も使われるようですが、形容詞として名詞を修飾するのに使われるときは不規則形のみが使われます。例文です。

En esta fábrica las patatas fueron cortadas y **freídas** (または **fritas**) automáticamente por la máquina.
この工場ではポテトは自動的に機械で切られて**揚げられた**。

A mi hermano pequeño le gustan las patatas **fritas** más que ningún otro plato.
私の弟はどんな料理よりも**フライド**ポテトが好きだ。

さて次に過去分詞の用法ですが、もっともよく使われる構文は《haber ＋ PP》でしょう。よくある質問に、スペイン語の完了形は英語と同じで「持つ」＋過去分詞なんですか、というのがあります。その通りです。haberという動詞は元々「持つ」という意味です。ただ、現在のスペイン語ではこの意味では使わなくなっています（tenerがありますので）。ところでhaberが英語のhaveに似ているのは語源的には全くの偶然だそうです（ただし、発展する過程で構文としては影響したでしょう）。

完了形と並んでよく使われるのが「受動態：《ser ＋ PP ＋ por 〜》」でしょう。

Eva **es querida por** todas sus compañeras de clase.
エバは全てのクラスメート**から愛されている**。

serの代わりにestarが使われることもよくありますが、こちらは何らかの結果を表しています。

Sus obras **están traducidas** a muchas lenguas extranjeras.
彼の作品は多くの外国語に**翻訳されている**。

その他のよく使われる構文を見ていきましょう。

まずは、《tener ＋ PP》です。

Tengo reservada una habitación doble para 3 noches.
私はダブルの部屋を３泊**予約しています**。

Tengo entendido que Madrid tiene muchas ventajas, pero la crisis económica de España es su punto débil.
私の理解するところでは、マドリードは多くの利点を持ちながらもスペインの経済危機がその弱点です。

その他の用法もいくつか挙げます。《dejar ＋ PP》（〜にしておく）

Ella salió **dejando abiertas** todas las ventanas de su casa.
彼女は家中の窓を**開けたまま**外出してしまった。

《qudar ＋ PP》はある行為の結果状態を表します。

Al final la Alhambra **quedó abandonada** y la gente casi se olvidó de este magnífico patrimonio.
ついにアルハンブラは**放置されてしまい**、人々はこの素晴らしい遺産をほとんど忘れてしまった。

ところで、よくある質問に「借りる」は何て言うのですか、があります。"pedir prestado"と覚えておきましょう。

Esta tarde voy a **pedir prestado** ese libro en la Biblioteca Universitaria.
今日の午後その本を大学の図書館で**借りてきます**。

次に分詞構文を見てみましょう。現在のスペイン語では、《過去分詞＋名詞》の順番が普通です。どちらかと言うと文語的な表現ですが、中級のレベルに達した方は覚えた方がよいでしょう。意味は「時」「条件」「原因」などですが、文脈に応じて訳しましょう。

Corregidos todos los errores el profesor devolvió los exámenes a sus alumnos.
全ての間違いを**直すと**先生は生徒に試験を返却した。

過去分詞の前に"una vez"等を伴うことも多いです。

Una vez **leídos** los mails ella los borró de una vez.
一度メールを**読むや**彼女はすべて一度に消去した。

過去分詞は一種の形容詞ですから容易に名詞化します。多くの例があります。helado, cocido, escrito, etc.　最後に名詞化した過去分詞を使った諺を1つ。

Del dicho al hecho hay mucho trecho.
（言ったことから行なわれたことには大きな隔たりがある。）
→言うは易し、行なうは難し。

語学の上達はひたすら行なうことです。有言実行で今年はさらに上のレベルを目指しましょう。¡Hasta la vista!

文　仲井邦佳

仲井 邦佳
なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。
京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。
著書に『はじめてのエスパニョール』（共著、三修社）、『中級スペイン語　―文法と演習―』（共著、同学社）などがある。

スペイン語教室アデランテの

ADELANTE スペイン語
www.adelante.jp

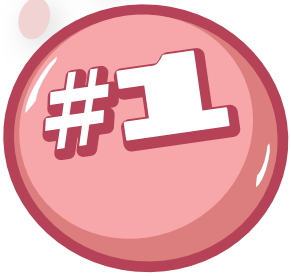
はじめてのスペイン語講座

第12回　現在完了について

Hola. みなさん、こんにちは!

はじめてのスペイン語講座も今回で12回目を迎えました。2013年度もスペイン語の楽しさを伝えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

さて、前回の当講座では、未来を表す言い方について、学習しましたね。そこで、今回は過去を表す表現の一つ、現在完了形（Pretérito perfecto）についてご紹介したいと思います。



① まずはじめに、現在完了の作り方について、以下に説明します。動詞を変形して過去分詞を作る以外は、それほど難しい事はありませんね。また、過去分詞の作り方も、例外はあるものの、2パターンしかありませんので、これから学習するその他の過去形の活用よりは、はるかに単純と言えます。

APRENDE! 覚えましょう！

《現在完了の作り方》

［主語 ＋ haber ＋ 過去分詞. ］

haber：主語に応じて活用させる

過去分詞：主語が変わっても変化なし

《Haberの活用》

Yo	he	Nosotros	hemos
Tú	has	Vosotros	habéis
Él / Ella / Usted	ha	Ellos / Ellas / Ustedes	han

《過去分詞の作り方》

- ar 動詞の場合	語幹 ＋ ado	dar → dado
- er 動詞 - ir 動詞 の場合	語幹 ＋ ido	beber → bebido vivir → vivido

※ 動詞《ir》の場合は《ido》に変化

《- er 動詞/ - ir 動詞（語幹の最後がa/e/oの場合）》

idoではなく、iの上にアセントを付けて-ídoと変化

例 Caer→Caído, Oir→Oído

その他、不規則な変化をする動詞もあります。
右の表に主なものをまとめましたので、覚えておいて下さいね。

《不規則な変化をする動詞の例》

不定形	過去分詞
decir	dicho
hacer	hecho
abrir	abierto
escribir	escrito
morir	muerto
cubrir	cubierto
poner	puesto
volver	vuelto
ver	visto
romper	roto

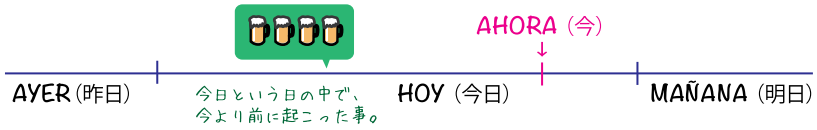
Hoy he bebido mucha cerveza.

今日はビールをたくさん飲みました。

では、活用の方法がわかったところで、実際にどのように使うかについて、見ていきましょう。

現在完了は、そのものズバリ、『現在において完了している事柄』を表します。しかし、この説明では、漠然すぎてあまり良くわかりませんね。例を見ながら、少しずつ学習していきましょう。

左上の絵を見て下さい。サラリーマンのマサオさんが、楽しそうに酔っぱらっていますね。この場合、"***HOY***" という時間を表す言葉がついているので、今日という日のどこかの時点で『ビールをたくさん飲んだ』と言っています。



現在完了を使う時の特徴として、上の例のHoy（今日）のように、『話をしている時点（今）においてまだ終わっていない時間的くくりを表す言葉』とともに使われます。

このような言葉に、『ESTA SEMANA（今週）』『ESTE MES（今月）』『ESTE AÑO（今年）』があります。

例 ***Este año, hemos ido a esquiar tres veces.*** 今年、私たちは３回スキーに行きました。

ir a esquiar；スキーに行く

Este mes, he tenido muchas visitas. 今月、（私には）たくさんの来客がありました。

Hoy no he bebido cerveza.

今日は、ビールを飲んでいません。

あわせて否定形の作り方も確認しておきましょう。

左下の絵では、別の日のマサオさんがいますね。この日は、お酒を飲んでいないようです。 この場合、否定形を作るための"No"は、haberの前に置かれます。Haber＋過去分詞は一つのかたまりと考えて、Haberと過去分詞の間には、何も入れないようにして下さいね。

○ ***No he bebido cerveza.***　× ***He no bebido cerveza.***

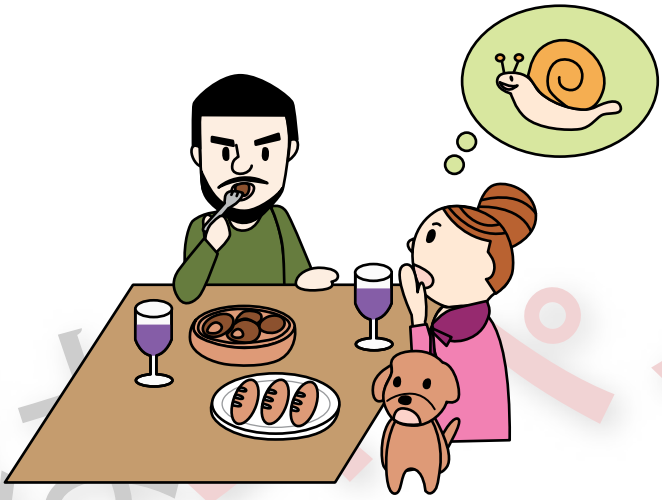
#2

② 次に、現在完了のもう一つの重要な用法である、「経験を表す」ための使い方を見ておきましょう。
日本語では、「～したことがある」と表されますが、スペイン語では、現在完了形を使って表します。

では、下の絵を見て下さい。

スペイン人のホセさんが、美味しそうにcaracoles（カタツムリ＝エスカルゴ）を食べているのを見て、マリさんが驚いています。（余談ですが、日本ではあまりなじみのないカタツムリですがフランス同様スペインでもよく食べられます。）それを見たホセさんは、マリさんに、

¿Has comido caracoles alguna vez?
（今までに）カタツムリを食べたことがありますか？



No. Nunca he comido caracoles.
いいえ、一度も食べたことがありません。

¿Has comido caracoles alguna vez? カタツムリを食べた事がありますか？
と尋ねています。これは、マリさんにカタツムリを食べた「経験」があるかどうかを尋ねています。

ここで、一つ注目して頂きたいのは、***"alguna vez"***という言葉です。これは、「いままでに」や「かつて」という意味を表します。この***"alguna vez"***があれば、まず経験を尋ねていると考えて間違いありません。（もちろん、無い時も往々にしてあるので、その際には、文脈より判断するしかないのですが。）

これに対して、カタツムリを食べた事の無いマリさんは、
No. Nunca he comido caracoles.
いいえ、一度もカタツムリを食べたことがありません。
と答えていますね。この***"Nunca"***「一度も～ない」という言葉も、経験を表す際のキーワードとなります。ちなみに、この***"Nunca"***、文頭に持って来ると後に続くものを否定するのですが、それ以外の場所にあるときには、文章を否定する事はできません。従って、動詞の前にNOを必ず置く必要がありますので、忘れずに！

○ ***Nunca he comido caracoles.*** ＝***No he comido caracoles nunca.***
× ***He comido caracoles nunca.***

もちろん、食べたことのある場合は、肯定形を用いて以下のように答えることができます。

- Sí. He comido caracoles dos veces. はい。２度食べたことがあります。
- Sí. He comido caracoles en París. はい。パリで食べたことがあります。

経験を尋ねられた場合、上のように、どこでそれを経験したか、何度経験したかも併せて答えることができますね。

現在完了を使って経験を表すことができると、表現が豊かになりますね。
ただ、現在完了を使う際に気を付けなければいけないことがあります。それは、**『現在完了を使って"正確にいつその経験をしたか"を表すことはできない』**ということです。以下の例を見て下さい。

例
¿Has estado algna vez en España? （あなたは）スペインに行ったことがありますか？
○ ***Sí. He visitado Barcelona.*** はい。バルセロナを訪れたことがあります。
× ***Sí. He visitado Barcelona hace 2 años.***
2年前に；過去のある一点を表す

※上の"２年前に"と同様、ayer（昨日）や el mes pasado（先月）などを使って、ある事象がいつ起こったのかを表すときには、これから学習する『点過去』という時制を使います。

現在完了のポイント

①まだ終わっていない時間のまとまりの中で、今よりも前に起こった事を表す。
Este año, hemos visitado muchos sitios.
私たちは今年、多くの場所を訪れました。

②経験を表す。（いつ経験したのか？ではなく、経験の有無を問うことに重きが置かれている場合。）
He subido al monte Fuji una vez.
私は、富士山に登ったことが一度ある。

un descanso....

《YA と TODAVÍA について》

①で紹介したようにHOYやESTE MESなどといった「今に継続している時間のまとまりを表す言葉」を付けずに現在完了を使うこともできます。

その場合は、「今より前のどこかの時点で完了した」過去を表す文になります。例として次の文を見て下さい。

- ***¿Has comido?***（ごはんを食べましたか？）
- ***Sí, he comido.***（はい、食べました。）

このときは、ある事柄が既に完了しているかどうかを尋ねるために現在完了を使っており、当然ながらごはんを食べた経験があるかきいているわけではありませんね。

こういった意味合いの文章のときに便利なのが、**"ya"**（既に、もう）です。

- ***¿Ya has comido? ＝¿Has comido ya?***（もうごはんを食べましたか？）
- ***Sí, ya he comido.=Sí, he comido ya.***（はい、もう食べました。）

そして、この**"ya"**と対のように使われるのが**"todavía"**（まだ）です。上の例文の答えとして、「まだ食べていません」と、言いたければ、以下の表現が有効です。

- ***No, no he comido todavía.=No, todavía no (he comido).***

今回のテーマは現在完了でした。スペイン語の過去形はたくさんの種類があり、複雑ですが、一つずつ着実に覚えていきましょうね！

スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
・ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語がマスターできる！
・振替ができるので忙しくても安心！
・月謝払いOK！
・無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554・FAX: 06-6110-5122
E-mail: info@adelante.jp・http://www.adelante.jp

イラスト：田中 文子

いろんな職歴・国籍…多彩な人材が集う職場！

代々飲食店を営む在日コリアン一家で生まれ育ったセキ・チョンムンさん。焼肉店で経験を積んだ後に門を叩いたのはスペイン料理店を経営する、株式会社バハルボールでした。
そこではさまざまな職歴や国籍を持つスタッフたちが、それぞれの個性を発揮。セキさんはたくさんの刺激を受けながら、スペイン料理人として、人間として成長を続けています。

親をはじめ、親戚の多くが飲食関連の仕事をしているという環境で生まれ育った私。中学生になったころから親戚のおばさんが経営する焼肉店で調理補助やサービスのお手伝いをするようになり、自然と飲食の道に進んでいました。高校を卒業してからも焼肉店を経営する会社に就職。肉の成形や調理など、肉に関する勉強を重ねてきました。そして2年半経ったころ、「アジアの枠を飛び出したい」と思うようになったのです。というのも、父は中華料理、焼肉、ラーメンのジャンルでやってきましたし、親戚の兄も創作居酒屋を営むなど、みんなアジア料理の世界で活躍。自分は同じ料理でもまったく違うジャンルに飛び込んで、自分の世界観や仕事観を広げたかったんです。そして職場から家に帰る途中、前を通ったのが、バハルボールの2号店・スペイン料理「エル フォゴン」でした。お店からは賑やかな声が聞こえてきて、楽しそうなエネルギーが外にまで伝わってきました。「よし、ここで働こう！」。一瞬でそう思いましたね。2011年1月のことでした。

面接時、「在日コリアンなんです」とオーナーに伝えましたが、オーナーはまったく意に介さない様子でした。後になってわかったことですが、これまでもバハルボールの店舗ではスペイン人が働いていたとのことです。（現在のバハルボールは、スペイン人、中国人、コロンビア人、アメリカ人、ネパール人など多彩な人が活躍する職場になりつつあります） 私はスペイン料理の知識も経験もなかったので、「なんでもやります！」としか自分の気持ちをアピールするしかありませんでしたが、バハルボールに入社し、まずは3号店の「ラ ガジェガ」で仕事に慣れるところからスタートすることが決まりました。

でも、最初の仕事はなんと、3号店「ラ ガジェガ」の改装工事！タイル切りをしながら「どうしてレストランの社員が施工するんだろう？」と思いました。しかし、その後「ラ ガジェガ」のホールで接客の仕事を始めるようになってから、改装工事の話をお客さまとの会話のネタにすることができ、「どんな経験も仕事に活かすことができるんだ」と気づきました。スペイン料理のことがまるでわからなかったころはもちろん、今でも改装ネタにずいぶん助けられています(笑)。

その後、「ラ ガジェガ」のキッチンに入り、本格的にスペイン料理の修業をスタート。スペイン料理の代表格であるパエリアを先輩方に教えてもらいましたが、前職で肉ばかり扱ってきたのでなかなか感覚がつかめず、何度も怒られましたね。お客さまにお出しするパエリアをつくれるようになった今でさえ、まだまだ美味しくつくれるよう研究中です。経験を積めば積むほど奥の深さに気づく日々が続いています。

また、おととしに始動した「パエリアバス」にも参加。昨年5月には東日本大震災の被災地である岩手県釜石市に行き、直径1メートルの鍋でパエリアを焼き、仮設住宅の方々に召し上がっていただきました。自分の目で見た被災地、震災を経験された人の話を通して、復興のために自分に何ができるのだろうか、と考えさせられました。

今、私は1号店の「ラ マーサ」で働いています。「ラ ガジェガ」と比べると小さな店舗ですが、お客さまとの距離が近く、毎日楽しく仕事をさせていただいています。今年１月にはパエリアの発祥地であるバレンシアに3週間の語学留学もさせていただきました。普通、社会人になったら、1カ月ものバケーションをいただいたり、数週間職場を離れたりするなんて、不可能です。そんな夢のようなことがここで実現し、たくさんの経験を積むことができています。

私は今回、スペインから持ち帰った新しい料理とスペインの空気を皆様にお伝えできるように、料理を楽しみながら作っていきたいと思います。

（石晶文）

バルセロナに来ました。
沢山の風景、感覚、匂い、忘れたくないなぁ。また行こう。

スペイン南東部の街イエクラのレストランにて
オーナーと料理長の奥さんと

ワイナリー「パラオンダ」のレストランにて研修

バハルボールグループの「ラ マーサ」ではセキさんのパエリアが食べられます！
詳細はウェブページをご覧下さい！ http://www.lamasa.jp/

スタッフ募集中！

ディレクター、店長・店長候補、アルバイト

企画力、サービス力、調理技術、語学力を活かしながら、
会社と一緒に成長していきませんか？

¡Vamos a trabajar juntos!

正社員2013年度春採用分スタートします。
アルバイト随時募集中

□待遇□

- ★ 各種社会保険完備
- ★ 正社員は1ヶ月のVacationあり
- ★ 社員寮あり
- ★ 語学研修制度（スペイン語）スタートしました
- ★ 男性社員も育児休暇を取っていただきます
- ★ アルバイトから正社員登用もあります

未経験の方もしっかりサポート。安心してスタートできます。

□現在進行中のプロジェクト□

- ★ オリジナルパエリアの研究
  （パエリア専用のお米作り、大阪ガスとの専用コンロ作成）
- ★ スペインのワイナリーとのイベント企画　（新ワイン開発&ブレンディング）
- ★ 出張パエリア　（パエリアバスプロジェクト、被災地支援）
- ★ 新店舗計画

■お問い合わせ先■

株式会社バハルボール

TEL：075-212-5703 採用担当まで

詳細は、ホームページをご覧下さい。
http://www.bajarbol.jp/

◆勤務地

■ La Masa（ラ マーサ）
京都市中京区寺町二条下ル妙満寺前町446 若林ビル1F

■ EL FOGON（エル フォゴン）
京都市中京区御幸町御池上ル亀屋町380

■ La Gallega（ラ ガジェガ）
京都市東山区川端三条下ル東側大黒町137

■ FUIGO（フイゴ）
京都市中京区三条高倉東入ル桝屋町55 白鳥ビル2F

レアル・マドリードＣＦ公認サポーターズ・クラブ

ペーニャ・マドリディスタ・ニポナ

ペーニャ・マドリディスタ・ニポナは1998年に創立したアジアで最初のレアル・マドリード（Real Madrid club de fútbol）公認のサポーターズ・クラブです。スペインではチームを応援するサポーターズ・クラブのことをペーニャといい、全てのサッカーチームに自分達のチームを熱烈に応援する「ペーニャ」が存在します。ちなみにレアル・マドリードの場合は全世界に1000を超えるペーニャが存在します。ペーニャ・ニポナは現在会長を務める久保田氏が1980年代の前半に約3年間マドリードに留学、その際にスペインサッカーおよびレアル・マドリードの魅力に取り付かれました。そして帰国後にレアル・マドリードとコンタクトをとり、現在のペーニャ・ニポナが誕生しました。現在のようにインターネット環境の無い時代でのクラブとのコンタクトは幾多の困難があり、実際に設立するまでにはかなりの苦労がありました。

ペーニャ・ニポナでは、メンバーの参加を募って現地に行って我らのチームを応援するという試合観戦旅行を実施しています。毎年、10名前後のペーニャ・ニポナのメンバーである日本のマドリディスタ達がホーム・スタジアムであるサンティアゴ・ベルナベウ・スタジアムにてチームへ熱い声援を送っています。

観戦旅行時には、クラブの許可を得て練習場見学も実施し、世界のスーパースター達と身近に接したりもします。2013年はペーニャ・ニポナの創立15周年になりますので、応援ツアー時にはクラブ関係者と記念の食事会を開催する予定です。

なお、レアル・マドリードの公式ホームページにもペーニャ・ニポナは紹介されています。http://www.realmadrid.com/cs/Satellite/es/1193040472660/1193041142351/penia/Penia/Nipona.htm

お問い合わせ・入会希望の方は：
shigi@bc4.so-net.ne.jp　久保田までご連絡ください。

レアル・マドリードＣＦ来日時に
フロレンティーノ・ペレス会長との記念撮影

ラウール選手へ ペーニャ・ニポナ選出ＭＶＰ楯の授与(2008年)

伝説の名選手、現在クラブ幹部のブトラゲーニョ氏とサンティアゴ・ベルナベウのピッチで記念撮影

スペインサッカーを巡る
-2-

1月7日に発表されたバロンドール。最終候補には、メッシ、イニエスタ（共にFCバルセロナ）、クリスティアーノ・ロナウド（レアル・マドリード）の3名が残っていましたが、遂に"メッシ"が4年連続4度目の受賞となりました。バロンドール（仏：Ballon d'Or）とは、FIFA最優秀選手賞と呼ばれ、各国代表チームの監督と主将がその年に一番活躍した選手に投票し、最優秀選手を選出するものですが、今年の最終候補3名全員がリーガ・エスパニョーラに所属している選手でした。それに伴って、その選考については2ヶ月も前からスペインのテレビで特集が組まれ、各試合で選手が活躍するたびに得点を付けて比較してみたり、専門家と呼ばれる人たちが自分の推薦する選手を取り上げ、時には喧嘩になってしまうほどの白熱した議論を交わすということが頻繁に行われていました。

実は去年も一昨年も最終候補3名はリーガ・エスパニョーラ所属チームの選手で、2010年は1位メッシ、2位イニエスタ、3位シャビ（3名ともFCバルセロナ）、2011年は1位メッシ、2位クリスティアーノ・ロナウド、3位シャビという順番でした。

この順位を見ていただいても分かるように、メッシ、シャビ、イニエスタ、クリスティアーノ・ロナウドという選手はコンスタントに成績を残していることが分かります。また、前号でご紹介したスペインで最も盛り上がるダービー、『エル・クラシコ』では、この4名が激突するわけですから、盛り上がるのは当然な気がしますね。

その中でも是非とも注目して欲しい、今年バロンドールを受賞したメッシについて少し紹介してみます。本名はリオネル・アンドレス・メッシ、アルゼンチン出身の25歳。13歳の時にFCバルセロナに入団し、17歳の時にトップチームデビュー。そして、今年バロンドールを史上初の4年連続獲得に続き、ゲルト・ミュラーが持っていた年間ゴール記録（85点）を上回る91得点を記録し、年間ゴール数でも新記録を樹立しており、名実共に現代サッカーのヒーローと言える存在になっています。

またメッシ同様、FCバルセロナの選手は小さい頃からFCバルセロナの下部組織でプレーしている選手が多く、2012年11月25日のレバンテ戦では、プレーヤー11人が全て下部組織育ちの選手という偉業を達成しており、トップチームの活躍だけでなく、選手育成について世界的にも注目を集めています。現在、FCバルセロナの下部組織には日本人も所属しており、しばしば地元の新聞にも掲載されたりと将来が有望な選手なので、これからの活躍を要チェックですね。

文　尾崎 剛士

尾崎剛士
おさきつよし/
Tsuyoshi Osaki

29歳、愛媛県出身。
2006年まで筑波大学蹴球部にて選手、少年サッカー指導者として活動。引退後は大学院に進学、その後就職し、サッカーの現場から2年離れる。2010年から町田高ヶ坂SCにて指導を再開。2011年10月にバレンシアに渡り、アルボラヤUDでサッカーの第二監督として指導を始める。昨シーズンはベンハミン（U-10）を率いて、リーグ優勝を果たす。

バレンシアのスペイン語学校
Costa de valencia
www.costadevalencia.com
E-mail: info@costadevalencia.com

イラスト　Jesús Martín Sánchez
jesusmartinsanchez.com

"ESPAÑA FOTO A FOTO"

CONCURSO FOTOGRÁFICO スペイン写真コンクール

第2回 スペイン写真コンクール受賞作品
タイトル：Valldemossa, Mallorca
撮影者：村田仁美

おめでとうございます。受賞者の村田様には、編集部より素敵な賞品をお送り致します。

第３回スペイン写真コンクール作品募集

【応募締切】 **2013年4月30日**

【応募要項】

1. 18歳以上であればプロ・アマ、出身地問わずどなたでもご参加できます。
2. 各自自由にお選びいただいたスペインに関するテーマで1作品のみ受け付けます。カラーでも白黒でもどちらでも結構です。ご自身の作品に限ります。また、他のコンテストで受賞された作品はご応募できません。
3. 写真サイズは、1024ピクセル×760ピクセルにしていただき、(**info@acueducto.jp**)までご応募ください。プリント写真は受け付けておりません。
   下記の必要事項を添えてご応募ください。
   1. 氏名　2. 国籍
   3. お住まいの都市
   4. 写真のタイトル
   5. 年齢
   6. メールアドレス
4. 公序良俗に反するもの、人種差別やテロ行為を駆り立てるような作品の応募は許可なく取り消します。
5. 写真はウェブページ（www.acueducto.jp）にて公開予定です。ネット上の公開、雑誌『acueducto』への掲載、優秀作品の展示会などにおいて、無償で利用させていただきます。商業目的での使用はいたしません。
6. 弊誌編集部にて、入賞作品一点が決定されます。

入賞作品は次号に掲載され、入賞者には賞品が贈られます。奮ってご応募ください。

西宮市国際交流協会

スペイン語おしゃべりの会　活動のご紹介

2012年11月17日開催の「スペイン語おしゃべりの会」では、京都在住のMaría Ángeles Cejador Ambrojさんを講師に迎え、ご自身の出身地であるスペイン・アラゴン地方を様々な切り口からご紹介いただきました。

アラゴン地方は変化に富んだ地形をはじめとし、文化遺産を含む多くの歴史遺産と観光地に恵まれていて、ご自分で編集された沢山の映像を使って、軽妙な語り口で楽しく紹介していただきました。

話に先立って、datos generales, lenguas, fiestas populares, gastronomíaの４項目に分けたレジュメの配布があり、参加者は一段と興味を持って、熱心に聴くことができました。また、有名なアラゴンの民族舞踊JOTAも、本場の雰囲気を感じ取れるようビデオを使っての紹介がありました。

なお、今回は講師のMaría Ángelesさんが、当協会に立派な装丁のスペイン語版漫画本「Historia de Aragón」前・後編2冊をプレゼントして下さいました。希望者への貸出を致しますので、興味のある方はお申し出下さい。

様々な角度から、まだあまり知られていない、アラゴン地方について紹介していただきました。

当日は生憎の冷たい雨でしたが、いつもと変わらず会場は満席でした。この会にはじめて参加された方も数人いらっしゃり、今更ながらスペイン語に関心を持っておられる方が多いことを再認識しました。

さて、2012年は4回の会合すべて、スペイン出身の方に講師をお願いしましたが、2013年はスペインの方に2回、中南米の方に2回講師をお願いしたく考えています。

また、この会でお話していただける、母国語がスペイン語の方のご紹介を、是非当協会までお願い致します。

次回3月10日は神戸在住のコスタリカの方を講師に予定しています。どうぞ楽しみにして下さい。

文・写真提供　谷善三

スペイン語おしゃべりの会　次回開催予定

日　時：2013年3月10日（日）午後2:00-3:30
場　所：〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮 4階
（公財）西宮市国際交流協会　会議室
ゲスト：Ivan Brenesさん（コスタリカ出身）
参加費：500円 ／ 定　員：30名（先着順）
お申し込みはお電話、FAX、E-mailにて（2月25日より受付開始）
お電話：(0798)32-8680 ／ FAX：(0798)32-8678
E-mail：nia930@sound.ocn.ne.jp

ゲルニカ備忘録――その2

《ゲルニカ》よ、永久なれ!

ピカソは、不倶戴天の敵フランコの死去する2年前の1973年、フランスのムージャンで亡くなった。その8年後、ピカソの生誕100年を記念して、《ゲルニカ》がアメリカから戻されることになった。2年にわたるアメリカ政府との返還交渉の成果であった。細長い木箱に収められた《ゲルニカ》を乗せたニューヨーク発のイベリア航空特別機が、1981年9月10日払暁、ようやく「最後の共和国亡命者」として、厳戒態勢のマドリードのバラハス空港に到着したのだった。当初、右翼陣営が実力阻止するといった噂があったようであり、そのための厳重警備と思われる。

《ゲルニカ》は、かつてピカソが館長になることになっていたプラド美術館の別館で一般公開された。いつ私が《ゲルニカ》を見たか忘れてしまったが、その頃、展示に反対する勢力が力をもたげていたのだろうか、別館での展示には、前面と側面をカバーする大きな防弾ガラスで保護され、しかも壁画の両サイドに軽機関銃を装備したガードマンらしき警備陣がいた。《ゲルニカ》はこのプラド美術館の別館も安住の地ではなかったのか、というのが私の率直な感想だった。

そして、《ゲルニカ》は、ソフィア王妃美術館に移された。しかし、バスク自治政府は《ゲルニカ》をソフィア王妃美術館が所蔵することに反対の意を表明し、1997年10月開館予定のビルバオのグッケンハイム美術館も、3階の「礼拝堂」に収まることを主張した。この辺の厳しいやり取りは、本誌第4号の拙稿「その3――ピカソの《ゲルニカ》の誕生とその波紋」(pp40～41)を参照されたい。結論からいえば、現在でも《ゲルニカ》はソフィア王妃美術館に展示されている。

最近、そこを訪れたジャーナリストの永峰清成のスペイン逍遥記『スペインの奥の細道紀行――バスク・アンダルシア・・・・』(彩流社、2012年, 36頁)には、著者が、ソフィア王妃美術館の2階に展示されている《ゲルニカ》を観たときのようすがつぶさに記されている。

その場所は、病室と廊下の仕切りを取り払ったような、外側の壁の間に置かれている。プラド美術館の別館に置かれたような、厳重な扱いではなく、どこかぞんざいに置かれた感じがする。それに照明もあるのか無いのか、これは自然光にまかせているのだろうか。そしてもっと異様に思ったのは、絵の横の壁あたりに、いろいろなものが張り付けてあるのだ。それは美術館ではなく、観客の誰かがやった悪戯のようにも見える。

《ゲルニカ》の写真をコピーして、それを上下逆さにした者や、あるいは絵を部分的に切り取って、それも横向きに張り付けたりと、とても美術館がやったとは思えないのだ。どこかこの作品に対する悪意、とまでいかなくても揶揄の気持ちを現わしているように思える。たしかにこの頃は、《ゲルニカ》に対する熱気が冷めているようだ。それは展示に反対すると賛成するとにかかわらずだ。この絵も、もう国賓待遇ではないということかもしれない。

著者の嘆息が聞こえてきそうである。私も、マドリードにいる友人にこのことを確認したいと思って連絡を取ったのだが、あいにくうまく取れなかった。

それにしても、たとえソフィア王妃美術館でこのような「ぞんざいな扱い」をされていようとも、《ゲルニカ》には、決して消えることのないメッセージが備わっているのだ。スペイン内戦の1937年7月、パリ万博のスペイン館で初披露されたのだが、その真向いには巨大な肖像写真が貼られ、そのキャプションに「フェデリコ・ガルシア・ロルカ・詩人、グラナダで殺される」と書かれていたのも、然り。

そして現在、アラン・セールの『ゲルニカ――ピカソ、故国への愛』(松島京子訳、冨山房インターナショナル、2012年)によると、世界の各地で繰り広げられている平和デモや、反戦デモにも、この《ゲルニカ》が最先端に掲げられているのだ。マドリードでも、然りである。

文　川成洋

川成洋

かわなりよう / Yo Kawanari

１９４２年札幌で生まれる。
北海道大学文学部卒業。東京都立大学大学院修士過程修了。
社会学博士(一橋大学)。法政大学教授。
スペイン現代史学会会長。

主要著書
『青春のスペイン戦争』(中公新書)、『スペイン戦争ージャック白井と国際旅団』(朝日選書)、『スペインー未完の現代史』(彩流社)、『スペインー歴史の旅』(人間社)ほか。

絵画ポスター

サイズ：29.6 X 23.9 cm
価格：各1.260 円

www.adelanteshop.jp

1

2

3

4

1. バルセロナ・サグラダ・ファミリア　2. アンダルシア地方・パティオ
3. マドリッド・メトロポリスビル　4. マドリッド・マヨール広場

＊その他、『バルセロナ・グエル公園』や、『ひまわり畑』もございます。
お気軽にお問い合わせ下さい。

【お問合せ・ご注文は】　有限会社ＡＤＥＬＡＮＴＥ
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館 2F
TEL: 06-6346-5554　FAX: 06-6110-5122　E-MAIL: info@adelanteshop.jp

セルバンテスで
楽しくスペイン語をはじめよう！

セルバンテス文化センターは、スペイン語とスペイン語圏文化の普及のために設立されたスペイン政府の公的文化機関です。フアン・カルロス国王陛下を名誉会長に、世界約80ヶ所もの支部を持っています。世界のセルバンテス文化センターで、あなたもスペイン語を学んでみませんか？

DELE
外国語としてのスペイン語認定証

スペイン教育文化スポーツ省認定、世界100ヶ国以上で実施されている信頼性の高いスペイン語能力試験。

DELE 5月試験

東京・大阪（全レベル）／京都・名古屋・広島（A1～B2）

申込期間　2月25日（月）～4月19日（金）必着

筆記試験　5月25日（土）

口答試験　5月25日（土）、26日（日）
ただし東京のB2、C2レベルの口答試験は **6月2日（日）**

試験詳細　http://dele.jp

DELE対策コース

通学　**少人数制通学30時間**
5月DELE対策コース
登録期間：2月20日（水）～3月2日（土）

お問い合わせ　cursos@cervantes.jp

通信　**DELE 対策オンラインコース**（レベル：B1・B2）
自習コース / 担当講師付コース　登録期間：通年

詳細　http://aulavirtual.jp/

AVE
スペイン語オンラインコース

インターネットを使って、好きなときに好きな場所でスペイン語を学ぶことが出来ます。

受講受付中　4月1日までの申込がお得！

自習コース

4コースで **59,000円**
（アクセス期間12ヶ月）

2コースで **39,000円**
（アクセス期間6ヶ月）

通常は1コース 28,000円（アクセス期間4ヶ月）

特典！　**コース受講中に分からない点をスペイン語でネイティブ講師に e-mail で質問できます。**

※その他、担当講師付自習コース、
子供を対象とした ¡Hola Amigos! コースなどもあります。

詳細　http://aulavirtual.jp/

スペイン国営
セルバンテス文化センター東京
〒102-0085 東京都千代田区六番町2-9セルバンテスビル
Tel　03-5210-1706（受付時間 火～金／11:00-18:45、土／11:00-14:00、月・日・祝 休み　3/20センター休館）
Fax　03-5210-1715　E-mail cursos@cervantes.jp　http://cervantes.jp

スペイン語書籍のご紹介

LIBROS ADELANTE書店
スペイン語の本 & 雑貨
www.adelanteshop.jp
掲載書籍のお問合せは:
有限会社ADELANTE
www.adelanteshop.jp
TEL:06-6346-5554
Email: info@adelanteshop.jp

LOLA LAGOシリーズ

マドリードに住む女探偵Lola Lagoが、様々な事件に遭遇し仲間と解決するCD付副読本シリーズ。
A1,A2,A2+,B1の全4レベルで、巻末には内容理解の問題を掲載しています。

CUADERNOS DE VACACIONES A1-A2 + CD

A1-A2レベル学習者の復習用練習ブック。学習した内容を休暇中に復習、理解を深めるために作成されました。
豊富な練習問題をこなして、レベルアップを目指します。

PEPA VILLAシリーズ

バルセロナの女性タクシードライバーPepa Villaが主人公のCD付副読本シリーズ。
A1-B1レベルまで、スペイン人が普段使う口語表現や言い回しが盛りだくさん。

GAEL
Y LA RED DE MENTIRAS

数少ないコミック教材登場!
初心者向けの語彙や文章のため、楽しみながらスペイン語学習ができるよう工夫されています。
泥棒のGaelが主人公の表現豊かなコミックです。

ラテンアメリカについて書かれたA2-B1レベル対象の副読本、Marca América Latinaシリーズ。
ラテンアメリカの「今」を読み解くことができます。

スペインをテーマにした、A2-B1レベル対象の副読本、Marca Españaシリーズ。
文化、社会、料理、若者などスペインの「今」を紹介しています。

TODAS LAS VOCES

多彩なスペイン語圏の文化を学べる教材。地理、経済、歴史、文学、芸術などジャンル別に構成されており、カラフルな写真やイラストとともに学習していきます。

GRAMÁTICA BÁSICA DEL ESTUDIANTE DE ESPAÑOL (Nivel A1-B1) EDICIÓN REVISADA Y AMPLIADA

分かりやすい解説と豊富な練習問題が特徴のA1-B1学習者向け総合文法テキスト。

A2レベル向け、世界で活躍するスペイン語圏の有名人について書かれたPerfiles popシリーズ。
鮮やかな写真とともに彼らの人生、軌跡をたどります。

新刊書籍のご紹介

スペイン奥の細道紀行:
バスク・アンダルシア・・・

【著者】永峰清成
【出版社】彩流社
【定価】2,310円(税込)
【ISBN】9784779118098

『憧れは美しさにあるのか』

青年時代のあの日に、神がかり的にスペインへの憧れをもったのは、決して姿形(すがたかたち)の美しさや、心の優しさに対して惹かれたからではない。私がそこに見たのは、むしろそれとは対照的に、荒あらしく、古くさいスペインの山野を写し出している風景だった。老婆が水瓶を頭に乗せて田舎道を行く様子や、女たちが、今にも掴みがからんばかりの形相で罵りあっている場面など。さらに山岳地帯に馬を疾駆させる男たちの野性的な姿にこそ、強く惹かれたのである。その中に、山賊の一団が映っていたかどうかは、分からない。

私はあえて、スペイン人ではない、ビゼーの『カルメン』の音楽が好きだと、言いたい。それも「ハバネラ」や「闘牛士の歌」ではなく、第四幕への前奏曲「アラゴネーズ」に、言いようもなく感じるのだ。パソドブレの早いテンポで奏されるこの短い曲は、やがて不慮の死を遂げることになる自らを知って、何ものかに向かって疾走する男たちへの葬送の曲なのだ、と私はいつも思う。この本の中では、一世を風靡した山賊ホセ・マリアや、今や私のことを、ミ・ファミリアと呼ぶグラナダの山賊の末裔一族のことを多く書いた。それは今までの日本人の、誰も書いたことのないテーマだと思っている。

読者には、ドン・キホーテや「ゲルニカ」やフラメンコとは違った、かつてのスペインの姿を想い出していただければと思っている。それにスペイン内戦については、川成洋氏が多くの本を書いておられるが、そこに登場しているであろう名もない男たちの生き様(ざま)については、私もより多く識っているつもりでいる。

文　永峯清成

サンティアゴ巡礼の歴史

【著者】ホセ・ラモン・マリニョ・フェロ
【訳】下山静香　【監訳】川成洋
【出版社】原書房
【定価】3,570円(税込)
【ISBN】9784562048540

本書は、キリストの十二使徒の一人で、中世ヨーロッパの精神世界の形成に影響を与えたサンティアゴ(聖ヤコブ)伝説の歴史的変容がテーマである。伝説とは、「歴史的要素と架空の要素が様々な割合で混じり合って形づくられている物語」、「信心をより強靭にするために歴史上の人物を活用する説教の物語」のことである。よって、伝説を読む際には、「時代錯誤の部分や歴史上の間違いを探すのではなく、そこに含まれている道徳的な内容を発見することに集中してほしい」と著者マリニョ氏は語る。

サンティアゴは、ヘロデ王の迫害によって、西暦44年頃にパレスチナで斬首刑されて殉教した聖人である。伝説によると、遺骸は小舟でスペインに運ばれ、ガリシアで埋葬された。9世紀に、聖ヤコブの遺骸が納められた墓が発見されると、発見地はサンティアゴ・デ・コンポステーラと名付けられ、やがてエルサレム、ローマと並ぶ巡礼地へと変貌した。

網の目のようにヨーロッパ中へ広がるサンティアゴ巡礼路は、最盛期の12世紀には、巡礼者に加えて、貴族、商人、職人といった様々な職業の人、また文物が行き交う路となり、「豊かな文化交流の最大の水脈」となった。そして巡礼路では、「使徒サンティアゴの人生と死、さらに彼が行った奇蹟についての伝説も旅をした」という。旅をする過程で、サンティアゴは、福音伝道者、戦士、巡礼者へと姿を変えていき、民衆はその奇蹟に熱狂した。

本書では、変容するサンティアゴ伝説が時系列で紹介されている。中世人の心が直接反映された伝説は、当時の世界観を知る手がかりになるであろう。本書を読み、伝説が生まれた「歴史的瞬間」に立ち会ってみるのはいかがだろうか？

文　福地恭子

チンチョン伯爵夫人
（その１）

プラド美術館本館のSALA37の部屋には、一枚の大きな絵画が展示されている。数奇な運命を辿ったこの絵はこの場所に移動して（多分、最後の場所となるであろうが）まだ10年ほどしか経っていない。この絵に描かれた女性の名前は「チンチョン伯爵夫人（女伯爵）」と言う。わざわざ女伯爵と入れたのは、彼女が伯爵と結婚して伯爵夫人となったのではなく、伯爵は彼女自身への爵位であったからである。これから、ゴヤの肖像画の最高傑作といわれるこの絵について何回かに分けて連載を進めることにする。

堀田善衛の大著『ゴヤ』の第二巻にはこの≪チンチョン伯爵夫人像≫について詳しく述べられている。ゴヤはチンチョン伯爵夫人（正式名称は、María Teresa de Borbón y Vallabriga）を生涯に二度描いている。しかも17年の時を経て。チンチョン伯爵夫人の祖父はフェリーペ5世であり、（二度目の妻との間の）長男がカルロス3世として王位に就く。チンチョン伯爵夫人の父親はカルロス3世の弟（3男）ドン・ルイスである。次に、カルロス3世のあとを継ぐのが次男（長男は身体的に不適格者であったため）のカルロス4世である（ゴヤの描いた≪カルロス４世の家族≫で有名）。従って、チンチョン伯爵夫人は国王カルロス４世とは、父親同士が兄弟の従兄妹の関係であった。

チンチョン伯爵夫人は、1780年11月26日トレドで生まれた。父親ドン・ルイスはスペインの王にはなれなかったが、親王として贅沢三昧の一生を送った。後年49歳でナバーラ出身の貴族マリア・テレサと結婚し、マドリッドの西方135キロにあるアナーレス・デ・サン・ペドロという山間の町の離宮に家族とともに隠棲した。そして1783年の夏にゴヤがこの離宮に呼ばれ、いくつかのドン・ルイス家族の肖像画を残した（ドン・ルイスはこの2年後に逝去）。

ドン・ルイスには三人の子供がおり、ゴヤは幼い長男と長女のそれぞれの肖像画を描いている。長男のルイス・マリアは後に枢機卿兼トレド大司教というスペイン宗教界に君臨する最高職位に就くことになる。一方、長女のマリア・テレサ（母親と同じ名前）はこのときわずか3歳、ゴヤが再び彼女を描くのは17年後の1800年、彼女がチンチョン伯爵の爵位を与えられたときである。この爵位は彼女一代限りのもので、彼女は別に「スエーカ公爵夫人」という爵位も持っていたので、後裔はスエーカ公爵の爵位を継いでゆく。堀田善衛は書く：

「私はマドリードの現スエーカ公爵夫人の好意で二度この薄幸な夫人の像の前に立つことが出来た。この最高傑作は、いままでの如何なる規模のゴヤ展覧会にも出品されたことがない。・・・夫人はゴドイの子（娘）を宿している。・・・緑と青との羽毛の髪飾りと紗のリボンをつけた金髪が額を蔽っていて、その下の眼の物語る、えもいわれぬ複雑かつ微妙なものは、それ自体でゴヤがこの20歳の姫に寄せた感情そのものであろう。・・・17年前の、あの無垢なマリア・テレサのことをゴヤがこれを描きながら思い出さぬ筈はなかった。・・・それにしてもこの、悲劇的、と言ってよいほどのところまで高まっている、清楚、清麗……。ゴヤの憐れみと同情は大画面に満ちて画外へ溢れて出て来る。額縁などもいらぬくらいのものである。」

私が、この≪チンチョン伯爵夫人像≫を初めて観たのは、マドリッド駐在中プラド美術館別館で開催された「ゴヤ特別展」であった。それまでどこにも展示されたことのない≪チンチョン伯爵夫人像≫が今回は終にスエーカ公爵家の計らいで展示されることになったと、新聞でも大きく報道されていた。

私は、展示期間中毎日のようにこの絵の前に立った。仕事の合間を縫っては、本館の向かいにあるプラド美術館別館を訪れた。入口正面にその絵は設置されていた。ほの暗い館内でその絵にだけに、一条の光が射していた。巨大な画布（216 x 144cm）に浮き上がる彼女の姿は、堀田善衛が書いてある通りであった。椅子に座して1点に目をやる若い姫の彼女自身の人生が凝縮している。背景は闇の中である。その絵の前で誰もが居住まいを正さざるを得ない、そういった厳粛さに包まれた絵であった。

ところで「チンチョン」とは、マドリッドから南へ46キロ離れたカスティーリャの古い町である。アランフエス宮殿の観光の帰り道に何度も立ち寄ったが、上品で物静かな街であった。勿論、チンチョン伯爵夫人とは直接関係はない。

チンチョン伯爵夫人マリア・テレサ像
フランシスコ・デ・ゴヤ画

再びチンチョン伯爵夫人マリア・テレサに戻る。マリア・テレサの父親ルイス・アントニオ親王（ドン・ルイス）はスペイン王フェリーペ5世の2番目の妻との間の3男としてマドリッドで生まれた。幼少から聖職者となるように育てられた。8歳で金羊毛騎士団員、トレド大司教、ローマのサンタ・マリア・デッラ・スカラの枢機卿となった。その後還俗して王位継承に野心をみせたため、国王となった兄のカルロス3世に疎まれることとなった。このため親王はマドリッドから遥かに遠方の田舎に隠棲することになったのである。また、49歳で結婚した相手のアラゴンの貴族マリア・テレサ・デ・パリャブリガ・イ・ロサスは王侯出身ではないため、この結婚は貴賤結婚と見なされ子供たちは庶子扱いを受けることになった。

カルロス４世の王妃マリア・ルイサ・デ・パルマは男妾であったゴドイ宰相に箔をつけてやるため、然るべき血筋の結婚相手を探していた。候補にあがったのが１８歳になったばかりのブルボンの血筋をひくマリア・テレサであった。先王から冷遇されていた親王ドン・ルイスの長女である。これほどの血統はざらにいるものではない。マリア・テレサの家系救済（既に両親ともに没して久しい）の恩を売るためにも、愛人ゴドイをブルボン家の一員にするためにも、一石二鳥の政略結婚であった。このときゴドイには公然の妾、ペピータ・トゥドーがいた。　（つづく）

文　桑原真夫

桑原真夫
くわばらまさお / Masao Kuwabara

詩人・エッセイスト　広島県鞆の浦出身、北大卒。
1977年よりほぼ毎年スペインを訪問。1984年から1989年まで銀行員としてマドリッドに駐在。ヨーロッパ在住約14年。スペイン関連著書多数。
最新刊に『ロサリアの秘密の生涯』（ルース・ポソ・ガルサ詩集：土曜美術社出版販売）。『ジャック・ブレルという詩人』及び『フランソワーズ（遠藤周作のパリの許婚）』を出版予定。

大海原

第２章

航海は、普段の生活となんら変わりなく続きましたが、船乗りたちは、女性が船に乗り込んでいることが気に入らないようで、すぐに私から離れようとしました。おかげで、台所仕事を手伝う必要もなく、幼い弟の世話をする時間もたっぷりとありました。ディエゴと私は、しばらくは楽しく過ごしていました。

どうやら他の乗客も、船の中では、とりたてて何かをする必要がないようでした。しかし、ほとんどの乗客は、たくさん船賃を支払っている冒険好きの商人でしたから、乗組員には、あれやこれや口うるさいようでした。船に乗り込んでいる商人の目的は、海岸沿いに、シルクロードの向こうまで行くことでした。いつの時代にも、そんな輩がいるものです。あえて、地図の境界線より先にある未知の世界に航海したがるのです。

ところが、航海がはじまって２か月が経った頃のことです。船に、病気が蔓延しはじめたのです。病気になった船組員は、弱ってその業務を全うすることができなくなりました。まもなく、幾人かの皮膚に斑点が現れはじめ、驚いた父は、私に命じました。我々にあてがわれた小さな船室にディエゴを連れて行って、病気がおさまるまでそこから出るな･･･と。そして、父は、我々に分け与えられたわずかの食事を、毎日、船室の私とディエゴに運んでくれたのです。

そんな父の顔色が、しだいに悪くなってきました。ある晩のことです。ディエゴが眠ったあと、途方に暮れたような父は、私に話してくれました。３分の１の乗組員や乗客が、血液の病気で亡くなり、まもなく自分も死んでしまうにちがいない･･･と。私は、泣きながら父と抱き合い約束しました。もし父がいなくなっても、ディエゴの世話をしながら強く生きる･･･と。

１週間後のことです。私は、父の遺体がくるまれた布に、震えながら手を合わせました。まだ元気な乗組員が、しきたりに習い、父のなきがらを海に放ちました。ディエゴは、ただ、だまって私のスカートをつかんでいるばかりでした。私たちは、抱き合って、失ったものの大きさに涙しました。とうとう、私たちは、二人きりになってしまったのです。この旅で生きながらえるのか、死んでしまうのか･･･、ともかく、知らない人ばかりの中で、運命に身を委ねるよりほかないと決意した瞬間でした。

作・イラスト　María Parra　校正　Miguel A. Carroza
訳　坂東俊枝

María Parra
マリア・パラ

アストゥリアス出身。３２歳。
イラストレーションを学んだが、幼い頃より物語に興味をもつ。近年、文学作品の校正にたずさわる知人のすすめで、作品の執筆をはじめる。

¡生徒募集中！

舞踊・カンテ・ギター・パルマと
フラメンコの全てをトップレベルの
指導を行う当教室で始めませんか！
全くの初心者の方から
プロ志望の方まで
入会随時受付中！

ACADEMIA DE FLAMENCO KEIKO ISHIKAWA
石川敬子フラメンコ教室
■ 忍ヶ丘 ■ 大正 ■ 長居 ■ 岐阜
TEL 072-877-6664 URL http://www.estudiopepa.jp/

ギター・カンテクラスは御大アレグレの直接指導

スペイン語の語学学校
EUREKA
1988年設立
マドリードの中心街で学ぶ
スペイン語コース

・１クラス最大８名
・スペイン語集中コース
・DELE検定対策コース
・全レベル対象
・個人サポート
・ホストファミリー、個人アパート、
共同アパート
・セルバンテス文化センター認定校

EUREKA ESCUELA DE ESPAÑOL
Arenal, 26
28013 MADRID
Telf : (+34) 915 488 640
Fax : (+34) 915 482 580
eureka@eurekamadrid.com
www.eurekamadrid.com

サン・オノレ
スペイン菓子
〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷２９０－１
℡095-860-8180 FAX095-860-8181

El español abre las puertas de tu futuro
スペイン語はあなたの未来を開く

スペインで専門分野を極める！
留学相談も受付中

レベルや目的にあわせた８コース

スペイン語全話コース
映画サロン
作文添削コース
DELE対策コース
文法コース
ビジネススペイン語
翻訳添削コース
通訳養成コース

EXTENSION
日本スペイン文化経済交流センター エクステンション
www.extensionspainjapan.com
Tel. 06-6251-2686 exosaka@osb.att.ne.jp

スペインタイルの絵付け教室
＆手作りタイル販売
スペインタイルアート工房
Tokyo/Osaka/Valencia (Spain)

大阪市西区南堀江 1-20-23-1003
Tel & Fax 06-4390-6545
Email: spaintile@japan.email.ne.jp
http://homepage1.nifty.com/spaintile/

3/20 (祝)
Open 17:00
Live ①18:00 ②19:30

フラメンコを
スパニッシュ料理とともに愉しめる夜

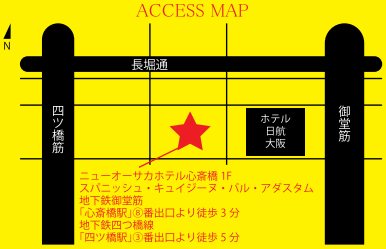
El Aire Flamenco
Sabor a HISAKO

会　場：Spanish Cuisine Bar Adustam
ニューオーサカホテル心斎橋 1F　バル・アダスタム
チケット：前売￥1,500(100 枚限定)／1DRINK
当日￥2,000 ／ 1DRINK
お問合せ：アダスタム 06-6121-5559(担当：西口・島本)
Estudio HISAKO 090-3052-2993

協賛
■スペイン語学校アデランテ
スペイン語
ADELANTE
www.adelante.jp

Spanish Cuisine Bar
Adustam

ACCESS MAP



ニューオーサカホテル心斎橋 1F
スパニッシュ・キュイジーヌ・バル・アダスタム
地下鉄御堂筋
「心斎橋駅」⑧番出口より徒歩３分
地下鉄四つ橋線
「四ツ橋駅」③番出口より徒歩５分

SpanishCommunications
㈱スパニッシュコミュニケーションズ
www.spacom.jp
03-5709-9251
スペイン留学.com
「スペイン留学.com」で検索

COLEGIO DE ESPAÑA
Since 1973

www.colegioespana.com
info@colegioespana.com

INTERNATIONAL SPANISH COURSES
Learn Spanish in Salamanca

・バラエティー豊かなコース
・一年を通して入学可能
・シニア歓迎
・講師向けトレーニング
・資格のあるネイティブ講師陣
・アクセスの良い好立地
・厳選された宿泊先を紹介

The best option to learn Spanish

CEELE fedele

Calle Compañía nº 65.
37002 Salamanca. Spain.
Telef: (+34) 923 21 47 88
Fax: (+34) 923 21 87 91

確かな技術と音楽する心を育てる
吉川二郎ギター教室
初心者歓迎！

コンサートフラメンコギター
クラシックギター＆ギタルパ

花屋敷教室(宝塚市)
天満橋教室(大阪市)
東京教室(月１回)
静岡教室(月１回)
ギターサークルJIRO(富士市)

お問合せ・入会のお申込みは
TEL&FAX.072-793-8684
詳しくはホームページで
吉川二郎 検索

スペイン語作文の方法（表現編）

小池和良 著　四六変形判　290頁　CD付　定価2,730円

課題文139・練習417題を訳しながら、文脈に応じた適切な語彙や表現を選択した上でスペイン語を書く力を養成。実践的な解説と豊富な例文によって、語彙の選択のミスを避ける語感を習得。課題文139の日本文・スペイン語解答例を対訳形式でCDに収録。本書にでている語彙や表現を網羅した詳しいスペイン語・日本語索引付。

〒162-0805　東京都新宿区矢来町106
Tel. (03)3267-8531　http://www.daisan-shobo.co.jp
第三書房

CURSOS DE ESPAÑOL

～スペインとバスク文化の融合の街の伝統校～

- スペイン語一般コース
- スペイン語+インターンシッププログラム
- スペイン語+バスク料理
- スペイン語+サーフィン
- ホームステイ、ルームシェア、送迎サービス等

親切なスタッフと細かなサポート
一年を通して、短期留学から長期留学が可能

ラクンサ・インターナショナルハウス・サンセバスチャン
info@lacunza.com
www.lacunza.com
International House San Sebastian

電話応対からプレゼンまで
そのまま使える定形フレーズ満載！

書名：実践!ビジネススペイン語ハンドブック
ISBN　：　978-4-9905766-1-5
定価　：　2800円（税抜き）
発行日：　2012年10月1日
出版元：　インタースペイン・ブックサービス
著者　：　高木 和子
有限会社インタースペイン代表取締役
ビジネススペイン語インストラクター
グロービス経営大学院大学MBA
監修　：　坂東 省次　京都外国語大学教授

ご注文はセルバンテス書店まで
03-6424-4335　interspain.ocnk.net

フラメンコスタジオ ミゲロン
Flamenco Studio MIGUELON

現役で活躍中のプロが講師をするフラメンコ教室

●ダンス(バイレ)クラス
60分×4回　10,500円
●ギター・歌・パルマクラス
40分×3回　10,500円
生徒募集中!

●石橋スタジオ　池田市井口堂1-9-3 センチュリーショウエイVII1F
●梅田スタジオ　大阪市北区太融寺町8-10 梅田高速ビル604
※ダンス(バイレ)クラス　十三スタジオ(アルディエンテ)にて開講中！

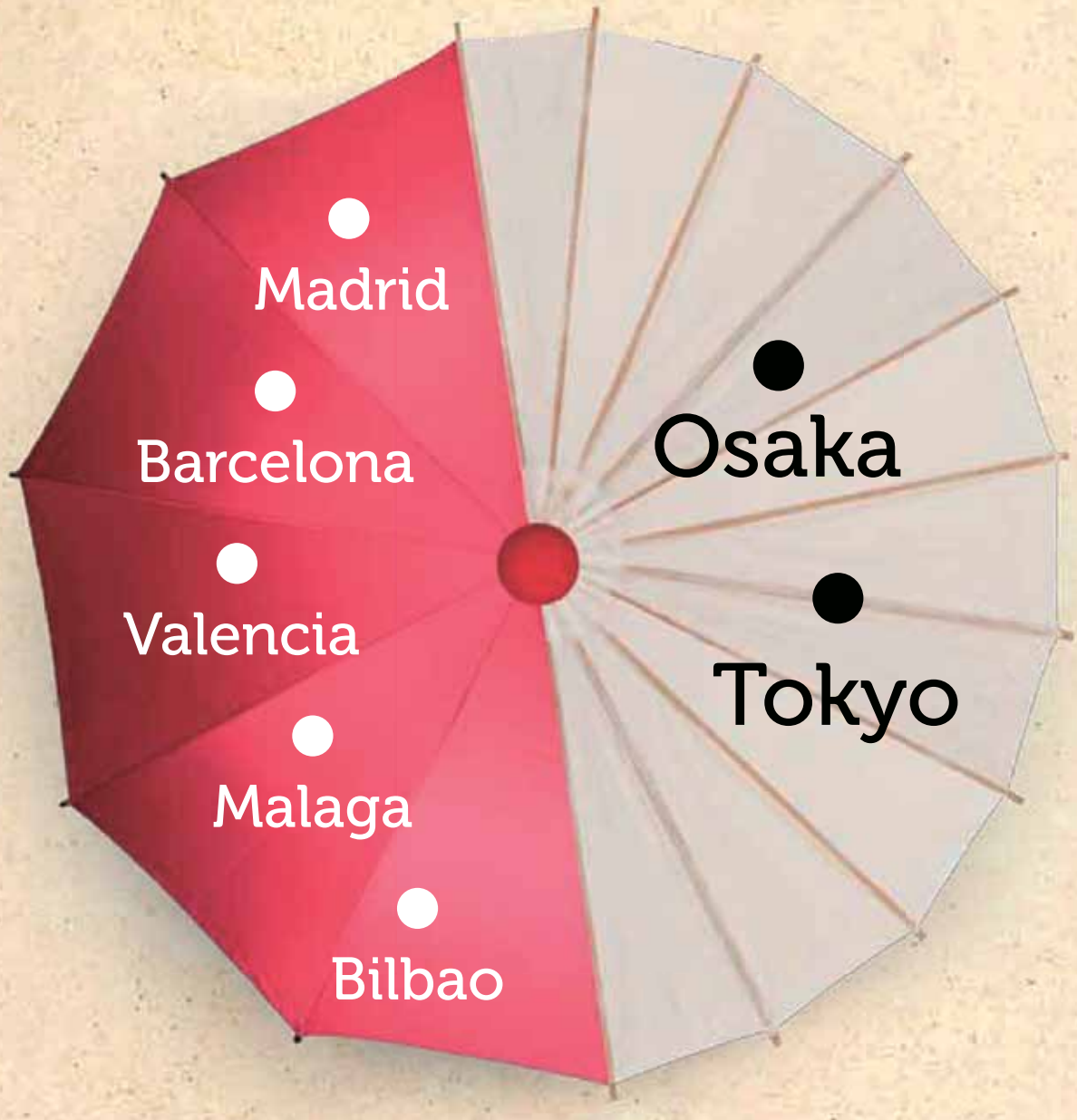
Tel 072-760-4858
E-mail miguelon@nifty.com　WEB http://www.miguelon.jp/

Europe's
Best Airline

A STAR ALLIANCE MEMBER

トルコ航空でスペイン5都市へ

トルコ航空なら関空および成田からイスタンブールを経由してバルセロナ、マドリード、
ビルバオ、マラガ、バレンシアへ。
さらに2013年5月21日よりサンティアゴ・デ・コンポステーラへ就航いたします。



スカイトラックスで2年連続ヨーロッパベストエアラインに
選ばれたトルコ航空で快適な旅を
We are Turkish Airlines, we are globally yours.

turkishairlines.com

Globally Yours

TURKISH AIRLINES

LIBROS
ADELANTE書店

スペイン語の本 & 雑貨

www.adelante-shop.jp

学習テキスト、文法問題集、レベル別副読本、
D.E.L.E. 試験対策本、絵本など
各種取り扱っています。送料全国一律280円
8,000円以上のお買い上げで送料無料!

スペイン語 ADELANTE

www.adelante.jp

Tel: **06-6346-5554**
Fax: 06-6110-5122
email: **info@adelante.jp**

「私のスペイン語、通じた♪」を実感

- **ネイティブ講師**だからプチ留学気分で自然なスペイン語をマスター
- 定員**6名まで**の少人数制**グループレッスン**
- ヨーロッパ共通参照枠**CEFのレベルに即した**カリキュラム
- 振替ができるので**忙しくても安心**
- 楽しい交流**パーティーや文化イベント**でスペイン語仲間がいっぱい
- **目的やペースに合わせて選べるコース**
  (一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベート・
  スペイン語の本を読むコースetc.)

無料体験レッスン随時実施中！
お気軽にお問合せください。

www.adelante.jp

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554・FAX: 06-6110-5122
E-mail: info@adelante.jp・http://www.adelante.jp

【お問合せ】 TEL: **06-6346-5554** / email: **info@spainryugaku.jp**

スペイン＆中南米への留学相談、手続き代行無料サービス

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします

1週間のプチ留学から長期プログラムまで、色々な目的に合わせて豊富なラインアップ。あなたにぴったりの留学スタイル選び、入学手続きまで無料でお手伝いいたします。語学留学、シニア向けのロングステイプログラム、スペイン語＋フラメンコ、スペイン料理、スペインワイン講座、など楽しいプログラムもあります。

スペイン全土、メキシコ・チリ・ペルーなど数多くの語学学校と提携

言葉に自信がなく、学校とのやり取りが不安な方も大丈夫。
入学申請書類の作成や必要な書類の送付、留学費用の海外送金などは全て代行いたします。

- 学校への出願サポート
- 学生ビザ申請書記入のお手伝い
- 留学費用の海外送金
- ホームステイ、寮、又はシェアフラット、アパート等の申込み
- 空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行